



DESTROY MODE

UNICORN MODE

RX-0 UNICORN GUNDAM 03 PHENEX

FULL PSYCHO-FRAME PROTOTYPE MOBILE SUIT



1/100 scale MASTER GRADE RX-0 UNICORN GUNDAM 03 PHENEX



フル・サイコフレーム実装試作モビルスーツ
 RX-0「ユニコーンガンダム3号機 フェネクス」
 1/100スケール
 マスターグレードモデル

RX-0 UNICORN GUNDAM 03 PHENEX



フル・サイコフレーム実装試作モビルスーツ
 RX-0「ユニコーンガンダム3号機 フェネクス」
 1/100スケール
 マスターグレードモデル

GUNDAM.INFO Search
www.gundam.info
www.bandai-hobby.net/



機動戦士ガンダムUC One of Seventy Two

ガンダムフロント東京の巨大ドーム型シアター「DOME-G」。直径16m、6台のプロジェクターと13台のスピーカーが設置された特設巨大ドームには、高所クレーンからのガンダム立像実写映像や、天球全体に広がる過去のガンダムシリーズの名シーン、そしてディテールアップされたRX-93Vガンダムほか大迫力のモビルスーツに満たされるさまざまな新作CGイメージが投影される。そこで繰り広げられる、宇宙世紀0095年——機動戦士ガンダムUC（ユニコーン）前夜。

※ここに掲載している情報は2014年2月現在のものです。



RX-0 UNICORN GUNDAM 03 PHENEX

DESTROY MODE



宇宙世紀0095年、試験用に先行納入されたフル・サイコフレームの素体をもとに、白い1号機と黒い2号機の建造データを反映して組み上げたRX-0の3号機。その出自には、ある地球連邦軍参謀の思惑が深く作用していたという。この通称「フェネクス」はRX-0の特徴であるNT-D（ニュータイプ・デストロイヤーシステム）を発動させることにより、本体装甲に加え、背面部に2基接続された増加サイコフレーム兵装「アームド・アーマーDE」を同時に展開。広げた両翼を想起させる人型のシルエットは、元より備えた金色の装甲色、そして露出したサイコフレームの青い輝きと共に、自身が不死鳥をモチーフとした「ガンダム」であることを完全に現す。同年、複数の

RX-0を使用した比較評価試験において、「偶然」遭遇したとされるネオ・ジオン残党軍と交戦したという記録が残されており、その後本機がどのような運命を辿ったかは定かでないが——重ねて言うならば、「フェネクス」のモチーフは永遠の時を生きる不死鳥であることを忘れてはならない。



RX-0 UNICORN GUNDAM 02 BANSHEE AMX-107R REBAWOO



宇宙世紀0095年、RX-0比較評価試験に駆り出された「ユニコーンガンダム」の2号機、通称「バンシィ」。翌年に地上で確認された仕様とは異なり、右腕には超振動効果による近接破砕兵器、アームド・アーマーVN、左腕にビーム・マグナムを装備。これらの兵装の違いは、搭乗していたパイロットの操縦特性によるものだとされている。「リバウ」、そして「フェネクス」との戦闘の末に胸部を大破したため、後に装甲部分の改良修繕作業が行われた。



かつてハマーンのネオ・ジオンで開発された「パウ」をベースに、残党軍である「袖付き」により大幅な改修が行われた可変モビルスーツ。上半身（リバウ・アタッカー）のコックピット周辺と下半身（リバウ・ナッター）の機首部分にサイコフレームを採用し、パイロットの感応波によって完璧な分離連携機動が行えるようになった。華やかな装飾と赤い機体色は、「リバウ」が幻のフル・フロンタル専用機として用意されていたことの証でもあり、「シナンジュ」の入手が確定した後は、他の搭乗者によって複数の実戦に参加していたという証言が残されている。

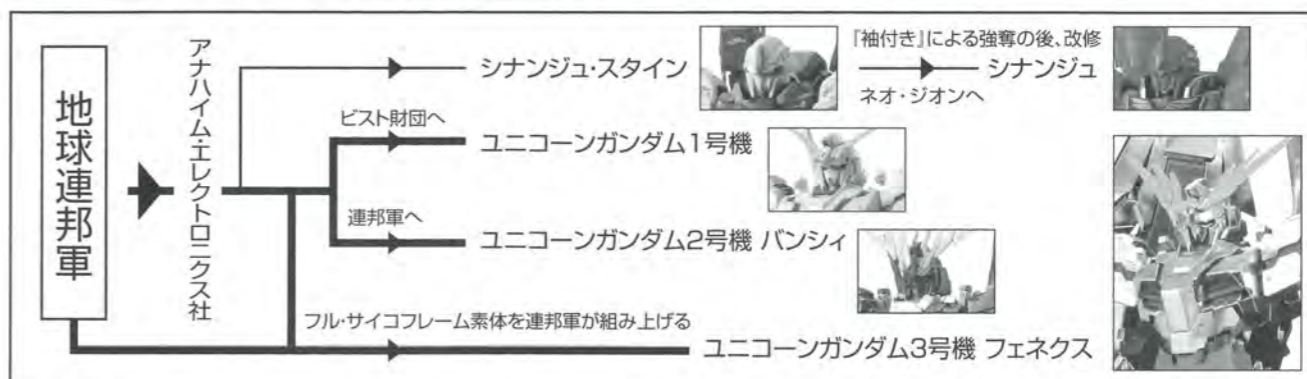
UC PROJECT

地球連邦軍が押し進めようとした「UC計画」とは何だったのか!?

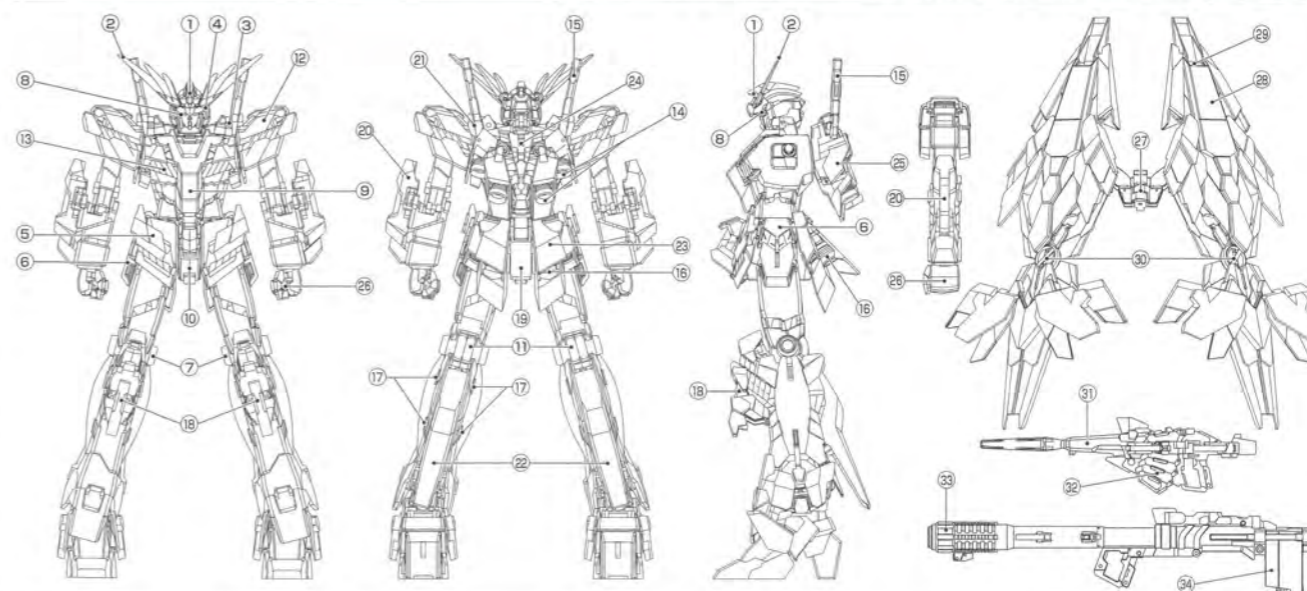
地球連邦軍再編計画の一環「UC計画」。その目的はジオン・ズム・ダイクンの思想を端とし、宇宙に蔓延する「ニュータイプ神話」の崩壊にあった。それを物理的に具現化するためには、人の進化形を抹殺することのみ特化した計画の象徴が必要だったのである。それがRX-0を型式番号とする「ユニコーンガンダム」と名付けられたフル・サイコフレーム実装型モビルスーツであり、AE（アナハイム・エレクトロニクス）社へ発注された本機は、「シナンジュ・スタイン」など複数のサイコフレーム実験機を経て、1号機と2号機が完成、AE社と深い関係性を持つピスト財団の協力の下に、計画は滞りなく進められているように見えた。だが、事実上RX-0の開発はピスト財団の主導下であり、その関与を快く思わない一部の連邦軍の将校達によって、財団のラインとは別の独自ルートで作りに上げられたのが3号機、通称「フェネクス」である。財団頭首カーディアス・ピストの手中にある1号機、財団宗主の孫としてAE社社長の一族へ嫁ぎ、その関係性をより強固にしたマーサ・ピスト・カーバインの手駒ともいえる2号機と共に、3体のRX-0は計画を基点として、それぞれの色相を帯びながら宇宙世紀を揺蕩う。強奪された「シナンジュ・スタイン」を赤く塗り上げ、「赤い彗星の再来」として表舞台に現れたネオ・ジオン残党軍のフル・フロンタルも介入し、計画の行方はますます混迷をきわめるが——可能性の獣と評された「ユニコーンガンダム」1号機の手綱を握った少年、バナー・リンクスの強い力は、この物語を結末へと導いていくのである。



MOBILE SUIT HISTORY of UC PROJECT



Parts and spec RX-0 UNICORN GUNDAM 03 PHENEX



- | | | | | | |
|-----------|--------------|-----------|---------------|--------------|------------|
| ①メインカメラ | ⑦ニージョイント | ⑬サイコフレーム | ⑲ベンチレートボックス | ⑳バックパック | ㉑ビーム・マグナム |
| ②ブレードアンテナ | ⑧デュアルセンサー | ⑭メインスラスタ | ㉒ムーバブルサーベルラック | ㉒マニピュレーター | ㉒Eバック |
| ③サブセンサー | ⑨コックピットハッチ | ⑮ビーム・サーベル | ㉓サーベルマウント | ㉓ブレードルートフレーム | ㉓ハイパー・バズーカ |
| ④60mmバルカン | ⑩ラジエーションユニット | ⑯サブスラスタ | ㉔アクティブスラスタフィン | ㉔アームド・アーマーDE | ㉔マガジン |
| ⑤フロントアーマー | ⑪パワーサブライヤー | ⑰姿勢制御バーニア | ㉕リアアーマー | ㉕メガ・キャノン | |
| ⑥サイドアーマー | ⑫ショルダーアーマー | ⑱ニーアーマー | ㉖マウントラッチ | ㉖Iフィールド発生器 | |

△ 注意

ご購入のお客様へ 必ずお読みください。

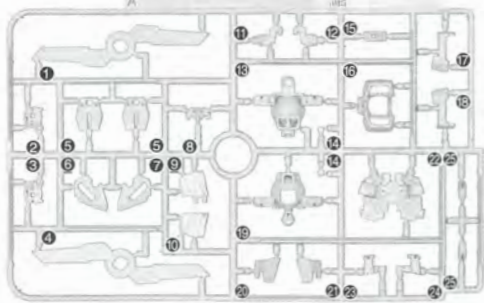
- 本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品がありますので、小さなお子様が誤って飲み込まないように注意してください。窒息などの危険があります。
- ビニール袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 尖った部分や鋭い部分がありますので、取り扱いや保管場所に注意してください。思わぬケガをする恐れがあります。

〈組み立てる時の注意〉

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。
- 部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- 塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- メッキ部分の組み立てのキツイ部分は、メッキ部分をはがして組み立ててください。
- ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

パーツリスト (×印は使用しないパーツです。)

Aパーツ(クリアブルー) (ABS樹脂: ABS)



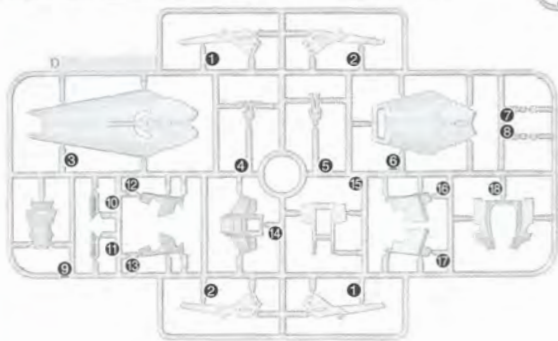
Bパーツ(クリアブルー) (ABS樹脂: ABS)



Cパーツ(ゴールドメッキ) (スチロール樹脂: PS)



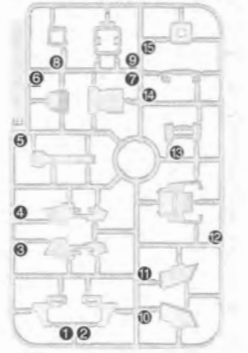
Dパーツ(ゴールドメッキ) (スチロール樹脂: PS)



Fパーツ(ゴールドメッキ) (スチロール樹脂: PS) (×2)



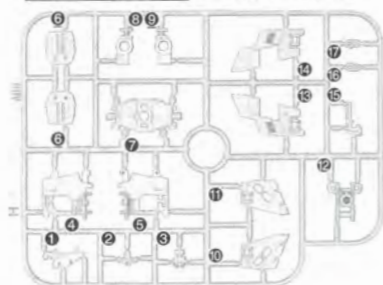
Eパーツ(ゴールドメッキ) (スチロール樹脂: PS) (×2)



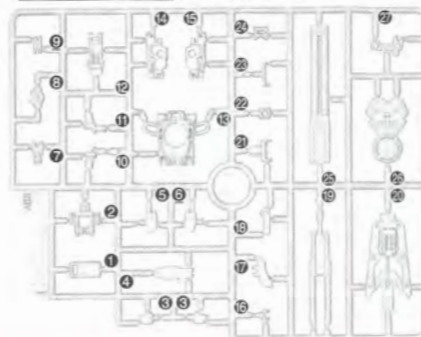
Gパーツ(ゴールドメッキ) (スチロール樹脂: PS)



Hパーツ(グレー) (ABS樹脂: ABS)



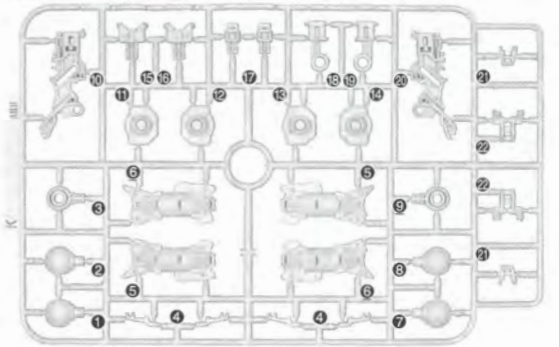
Iパーツ(グレー) (ABS樹脂: ABS)



Jパーツ(グレー) (ABS樹脂: ABS)



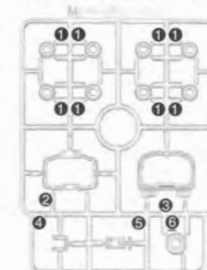
Kパーツ(グレー) (ABS樹脂: ABS)



Lパーツ(グレー) (ABS樹脂: ABS)



Mパーツ(グレー) (スチロール樹脂: PS)



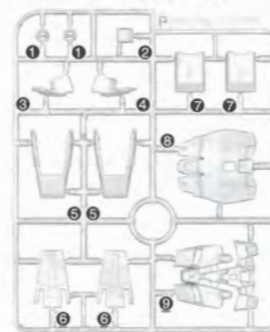
Nパーツ(グレー) (スチロール樹脂: PS)



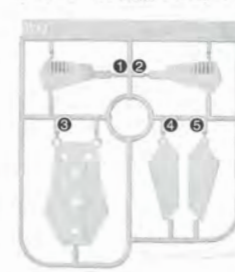
Oパーツ(ダークグリーン) (スチロール樹脂: PS) (×2)



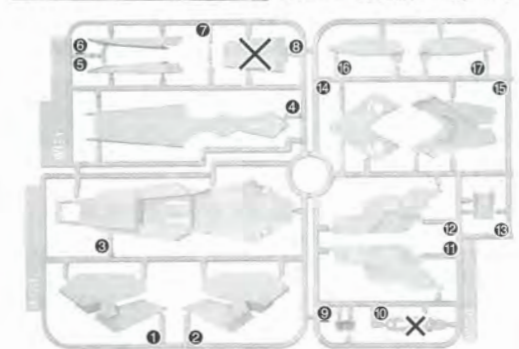
Pパーツ(ダークブルー) (スチロール樹脂: PS)



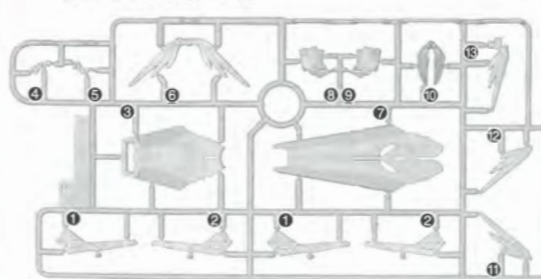
WDパーツ(クリアブルー) (スチロール樹脂: PS) (×2)



WEパーツ(ゴールドメッキ) (スチロール樹脂: PS) (×2)



WFパーツ(ゴールドメッキ) (スチロール樹脂: PS)



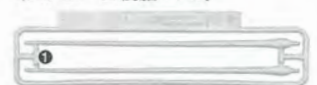
WG1パーツ(クリアブルー) (ABS樹脂: ABS)



WG2パーツ(グレー) (ABS樹脂: ABS)



SB1パーツ(クリアピンク) (スチロール樹脂: PS)



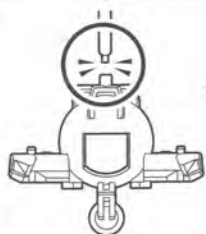
※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。

カラーシール……………1枚
水転写式デカル……………1枚

組み立て前の基本説明

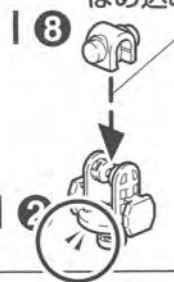
部品の向きに注意してください

※組み立て図中にVのついている部品は、形状や向きに注意して組み立ててください。



※A⑩は、ピンを切り取らないように注意してください。

※奥までしっかりと、はめ込みます。



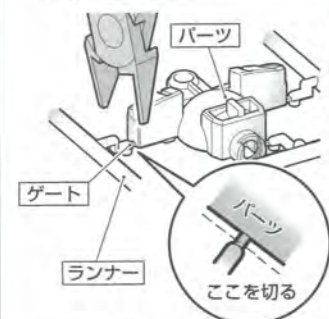
※忘れずに180°図の位置にしてください。

水転写式デカールの貼りかた

1. 使うデカールを切りとり、ぬるま湯に3秒程度浸し、ピンセットで引き上げます。
 2. 台紙からデカールがすべるようになるまで待ち、表を上にしてすべらせて貼ってください。
 3. 綿棒などで押し、気泡を取ってください。かわくまでは、手を触れないでください。
- ※複雑な曲面形状等に貼るデカールには、密着させるために別売りのスライドマーク用軟化剤やスライドマーク用接着剤をご使用ください。
- ※デカールを貼る部分のキットパーツの油分を、あらかじめ中性洗剤などでふきとると一層密着します。
- ※デカールを貼るための道具(ハサミ、ピンセット、綿棒など)は、別にご用意ください。

パーツの切り取りかた

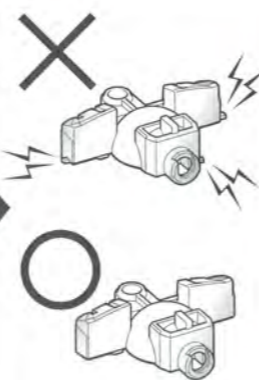
①まず、パーツから少し離れた位置にニッパーの刃を入れて切り取ります。



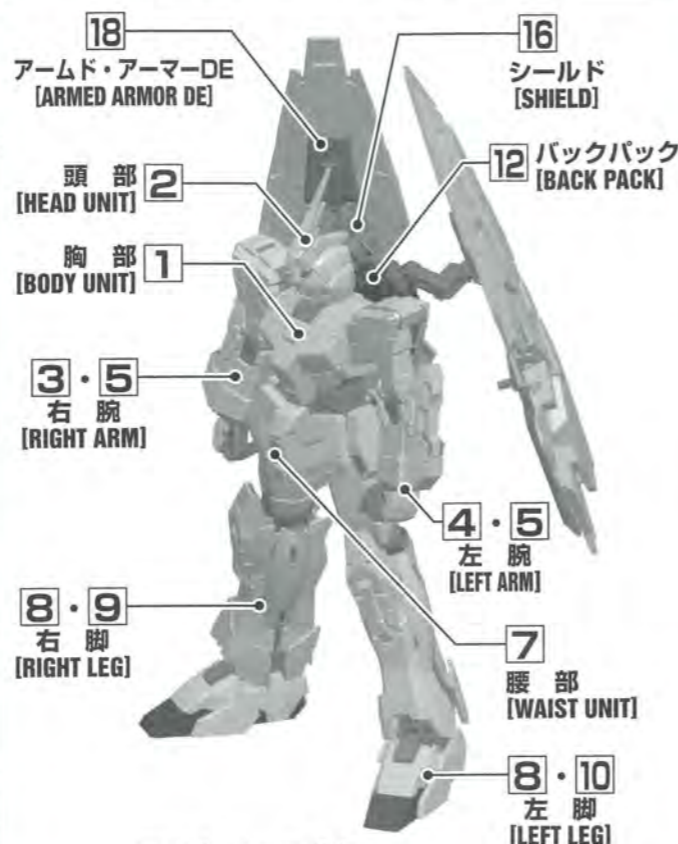
②パーツを切り離して持ちやすくしたところでゲート跡の処理に入ります。



③ニッパーの刃をパーツに密着させてゲートを切り取れば、きれいに仕上がります。



説明書をよく読んで完成させましょう



1 BODY UNIT



・組立1で使用するパーツ

A(クリアブルー)

D(ゴールドメッキ)

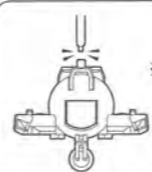
I(グレー)

M(グレー)

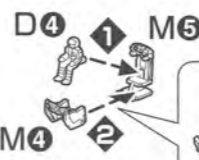


1 (胸部の組立)

1 (1) BODY UNIT



※A⑩は、ピンを切り取らないように注意してください。

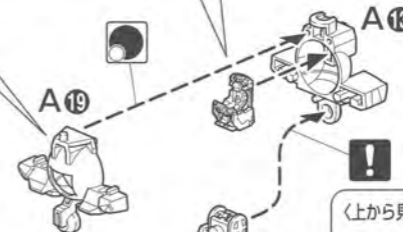


〈横から見た図〉

※奥までしっかりと、はめ込みます。

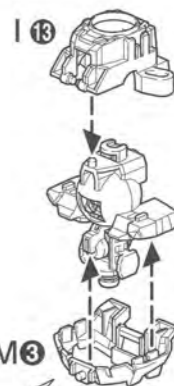


※忘れずに180°図の位置にしてください。

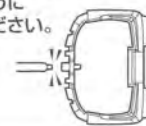


〈上から見た図〉

1 (2)



※M⑥は、ピンを切り取らないように注意してください。



1 (3)



※M⑥は、ピンを切り取らないように注意してください。

〈横から見た図〉

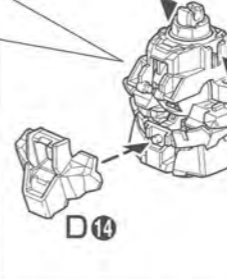


※ミソに合わせて組み立てます。



向きをかえます。

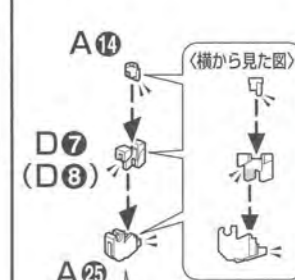
※ミソに合わせて組み立てます。



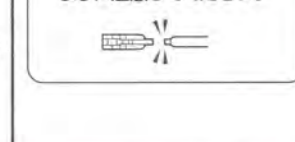
〈上から見た図〉

1 (4) x2

※各部品はきれいに切り取ります。



※A⑩は、ピンを切り取らないように注意してください。



※組立図中の記号説明

180° 数値に合わせて回転させる

後から組み立てる

! 向きに注意して組み立てる

x2 部品を数値の個数作る

1 (5)

〈内側から見た図〉 〈外側から見た図〉

A20

D10 ※きれいに切り取ります。

向きをかえます。

A17 A18

1 (4)

前

D15

1 (3)

〈内側から見た図〉 〈外側から見た図〉

A21

D11 ※きれいに切り取ります。

前

1 (6)

前

D12 D16

D18

〈前から見た図〉

D9

I12

I9 !

3

1

2

4



2 HEAD UNIT

・組立2で使用するパーツ

A(クリアブルー) C(ゴールドメッキ) H(グレー) WF(ゴールドメッキ)

・カラーシール

2 (1) 頭部の組立 HEAD UNIT

H1

H3

〈横から見た図〉

1

2

3

4

5

A8

H2

C15

9

2 (2)

〈横から見た図〉

A3

A2

1

2

前

20

※位置に注意してください。

C16

前

2 (3)

前

1

2

3

4

〈横から見た図〉

2 (4)

※シールは先に貼ります。

21

C14

2 (5)

WF12 WF11

WF4 WF5

向きをかえます。

WF10 WF13

1

2

3

WF8 WF9

〈可動アンテナ〉

〈横から見た図〉

3 4 5 ARM UNIT



・組立3・4・5で使用するパーツ

B(クリアブルー) E(ゴールドメッキ) G(ゴールドメッキ) J(グレー)

(x2)

3 (1) 右腕の組立 RIGHT ARM

J14 J12

J16

向きをかえます。

2

前

〈横から見た図〉

J20

前

J19

B9

1

2

3 (2)

※E6は、突起部分を切り取らないように注意してください。

G15

E9

E5

J2

B10

3 (3)

E4

E2

向きをかえます。

E3

E1

E7

E6

3

(4)

J9 **J10**

※奥までしっかりと、はめ込みます。

E15

※奥までしっかりと、はめ込みます。

J3 **J5** **J6** **J7**

J1 **G3** **J2**

向きをかえます。

外側 = 内側

外側 = 内側

J8 **G17**

1 2 3

4

(1) LEFT ARM

J11 **J13** **B9**

向きをかえます。

前

J15 **J19**

前

2 1

※奥までしっかりと、はめ込みます。

4

(2)

G16 **E9**

※E9は、突起部分を切り取らないように注意してください。

B10 **E5** **J22**

4

(3)

E2 **E4**

E3 **E1**

向きをかえます。

E7 **E6**

4

(4)

J9 **J10**

※奥までしっかりと、はめ込みます。

E15

外側 = 内側

外側 = 内側

J2 **J4** **J7** **J6**

向きをかえます。

J1 **G4**

1 2 3

5

(1) x2 **SHOULDER ARMOR**

J23 **E13** **J17**

※奥までしっかりと、はめ込みます。

前

15°

※奥までしっかりと、はめ込みます。

5

(2) x2

J18 **B12** **B11**

※奥までしっかりと、はめ込みます。

前

15°

※奥までしっかりと、はめ込みます。

5

(3) x2

E14 **J24**

※奥までしっかりと、はめ込みます。

15°

前

E8 **J24**

15°

※奥までしっかりと、はめ込みます。

6

UPPER BODY

2 で作った頭部

5 で作った肩アーマー

5 で作った肩アーマー

3 で作った右腕

1 で作った胸部

4 で作った左腕

7

WAIST UNIT

・組立7で使用するパーツ

A(クリアブルー) C(ゴールドメッキ) H(グレー) K(グレー) M(グレー)

7

(1) WAIST UNIT

H4 **H8** **H9**

15°

7

(2)

H5 **H6** **H9** **H16**

15°

15°

向きをかえます。

A9 **A10**

7
(3)

〈上から見た図〉

前

7
(4)

〈内側から見た図〉

向きをかえます。

前

7
(5)

〈内側から見た図〉

向きをかえます。

前

7
(6)

※きれいに切り取ります。

〈内側から見た図〉

前

7
(7)

〈内側から見た図〉

前

※きれいに切り取ります。

前

7
(5)

向きをかえます。

前

8 9 10 LEG UNIT

・組立**8**・**9**・**10**・**11**で使用するパーツ

A (クリアブルー)	B (クリアブルー)	C (ゴールドメッキ)	F (ゴールドメッキ) (x2)	G (ゴールドメッキ)
H (グレー)	K (グレー)	L (グレー)	M (グレー)	P (ダークブルー)

8
(1) **x2** (脚部の組立)
LEG UNIT

〈横から見た図〉

※きれいに切り取ります。

前

8
(2) **x2**

向きをかえます。

前

8
(3) **x2**

〈横から見た図〉

前

8
(2) **x2**

向きをかえます。

前

8
(4) **x2**

〈内側から見た図〉

短い

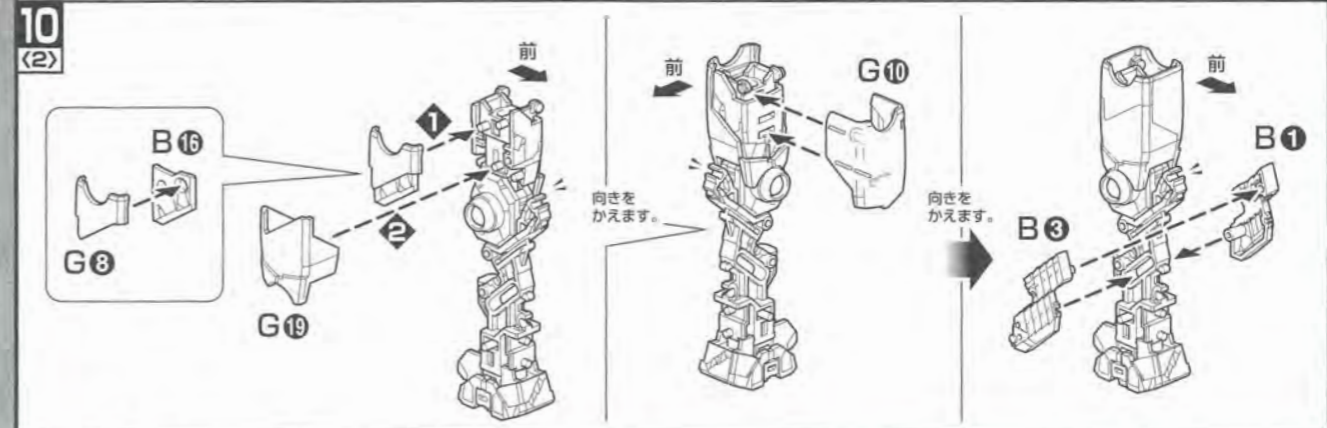
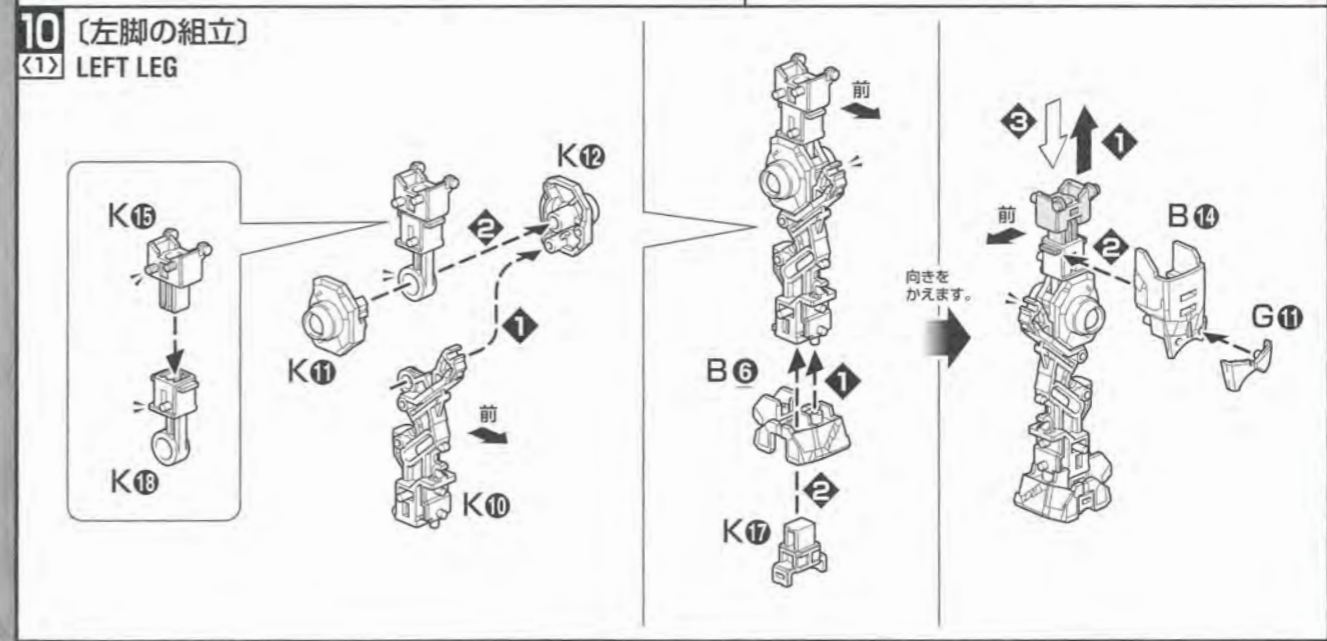
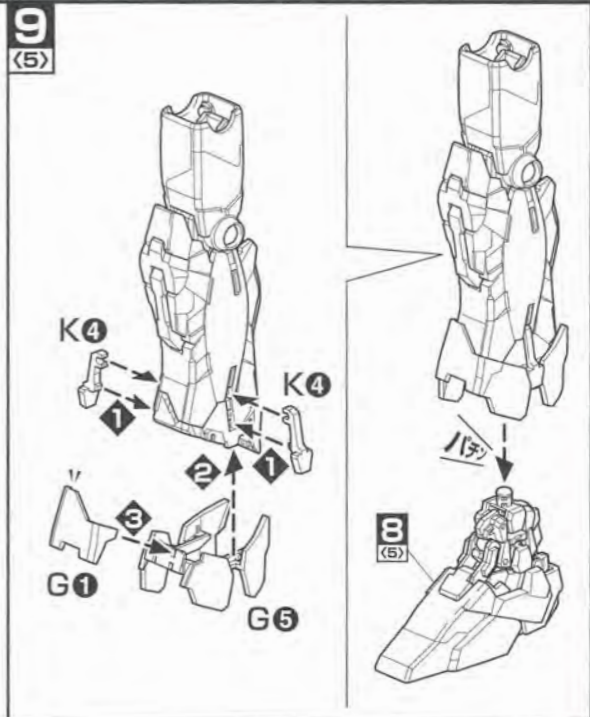
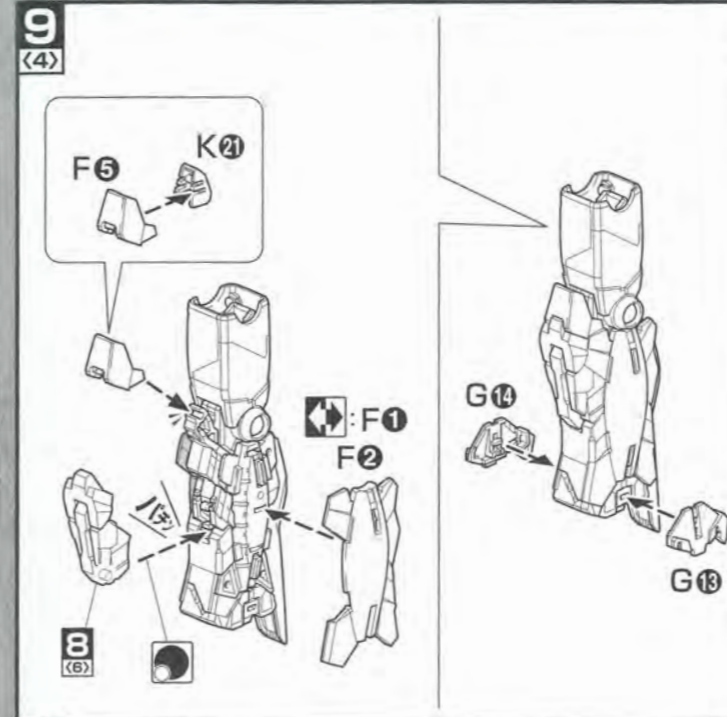
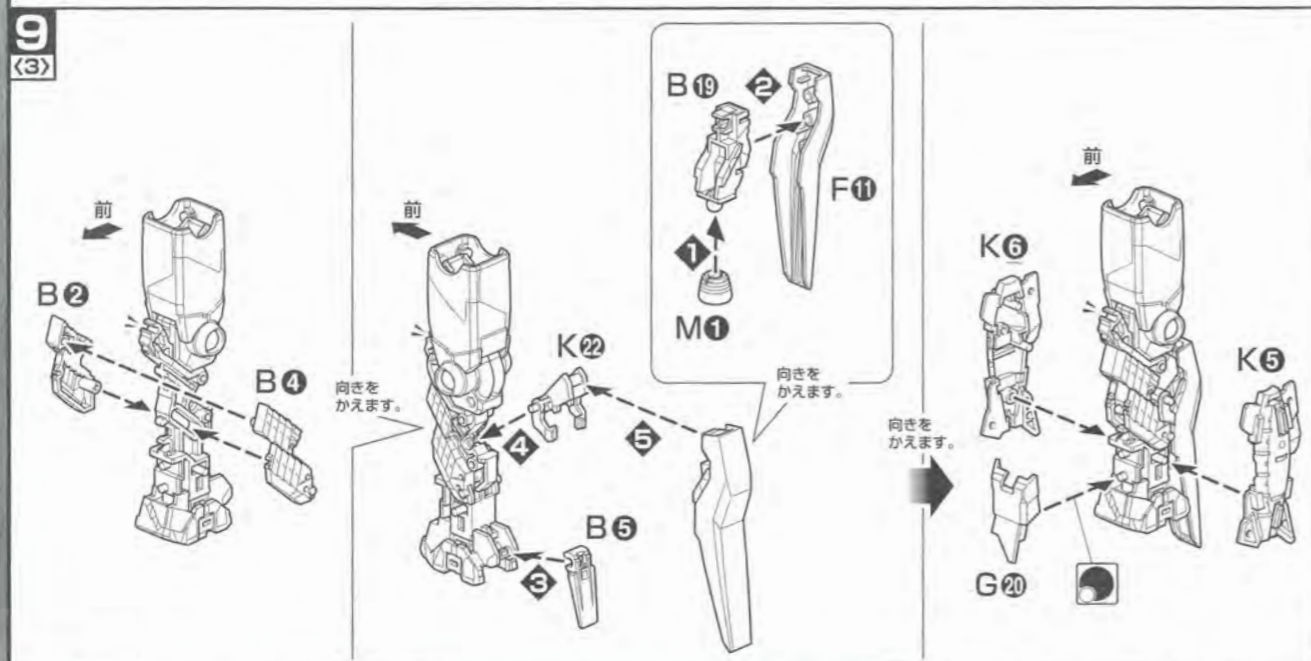
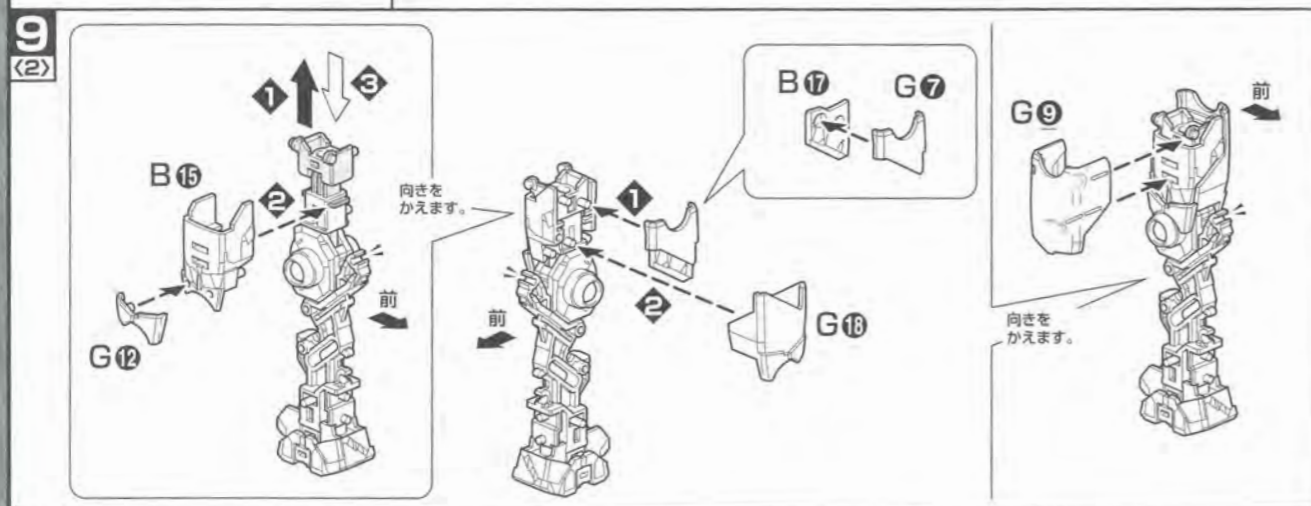
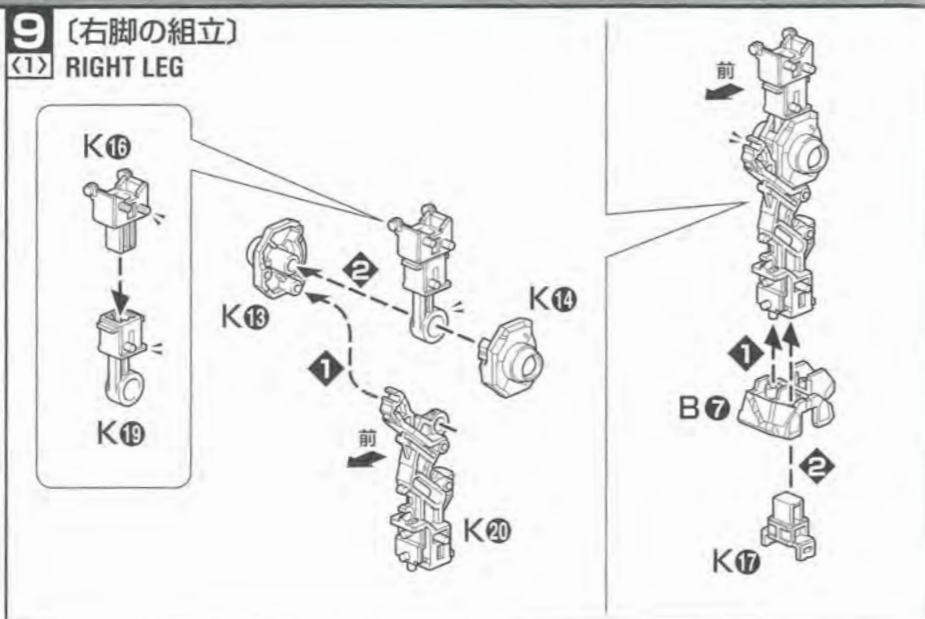
長い

※奥までしっかりと、はめ込みます。

前

8
(5) **x2**

前



U.C.0095 One of Seventy Two



※画像はイメージです。

宇宙世紀0095年、12月3日。無数のデブリが漂う暗礁宙域では、RX-0による比較評価試験が行われていた。ネオ・ジオン残党軍による試作機試験を2体のRX-0で急襲、殲滅する実戦任務をもって評価試験とする非常識なプランは、ビスト財団から『UC計画』の主導権を取り戻さんとする連邦軍参謀達の強引な手腕により実現の運びとなった。ルールは単純、1機でも多くの敵機を撃とした方の勝ち——。イープで迎えた終盤、参謀達が作り上げた“連邦だけの”RX-0《フェネクス》は、残る1機となったAMX-107R《リバウ》を撃つべく、手にしたビーム・マグナムを撃ち連ねる。だが、掠めただけで撃破するほどの破壊力を秘めた光球は、2機の戦闘機へ分離変形し、変幻自在の機動を行う《リバウ》には通用しない。「……《フェネクス》のリミッターを解除しろ」軍の威信をかけた戦いに、参謀はRX-0に秘められた力の開放を命じた。機体に奔った青いサイコフレームの光は、強すぎる気付け薬のように《フェネクス》を苦しげによじらせ、その姿をデストロイモードへと強制的に変えていく。開いた角に宿る不死鳥のモチーフ、そしてジオンを問答無用で畏れさせる《ガンダム》の顔。一転して劣勢の《リバウ》は、同様に自身を狙う2号機、《バンシィ》とも纏れ合いながら、もはや常識では計れない速度域での戦闘機動へと移行していった。移動しながら激突をくり返す3機。其処此処に点々と残る光の波紋。どす黒く禍々しい、染みのような光が無数の波紋を拡大させてゆく。「あの光はなんだ……?」「サイコフレームの発光現象……にしては強すぎる。あれは……」その身にサイコフレームを備える3機のモビルスーツが生み出す共鳴光。中でも全身をサイコフレームで構成する2機のRX-0は、濁る光の中で、倒すべき敵の解釈を急速に拡大させていった。自身の映し身を躊躇なく狙い撃つ《フェネクス》、それをなんとか交わし、応射する《バンシィ》。互いの身から放たれ、混ざる不気味な光はその輝きをさらに増していき、これまでの光の波紋も互いに結合して——もはやその場所は、暴走する《ユニコーンガンダム》のみを受け入れる、赤黒いオーロラの皮膜で包まれた空間と化していた。

MECHANISM & WEAPONS



Beam Tonfa



フェネクスを象徴する背部に装備されたアームド・アーマーDEはスラスタが展開し、サイコフレームが露出。前腕部に装備することでメガ・キャノンの射撃シーンを再現。



ARMED ARMOR DE アームド・アーマーDE

シールドの機能拡張を主目的とする、最初期に開発された増加サイコフレーム兵装（アームド・アーマーシリーズ）。ユニット自体に展開式スラスタとメガ・キャノン内蔵することによって、防御兵装に宙間での機動力強化と広域攻撃手段を付加させる。NT-Dの発動と連動して展開し、背面に2基装着している本機の場合、両翼を広げた特徴的なシルエットを形成する。



PSYCHO-FRAME サイコフレーム

「感応波」と呼ばれる特殊な精神波を受信し、処理を行うサイココミュ装置の機能を持つコンピューターチップを金属粒子のレベルで錆込んだ構造材。様々な性質を持ち、一定以上の効果を機体にもたらすが、その全ては未だ解明されていない。宇宙世紀0096年時点では月のグラナダ工場にのみ製造設備が存在し、機密保持も兼ねて一括管理されている。《ユニコーンガンダム》共通の骨格素材として採用され、デストロイモード時には謎の発光現象を伴う。



Head 頭部はユニコーンモードからサイコフレームが露出し、フェイスガードが出現。特徴的なブレッドアンテナが展開し、ガンダムタイプの顔が現れる。



Hyper Bazooka

※一部の画像は、バンダイプラモデルアクションベース1(別売り)を使用しています。



BEAM MAGNUM ビーム・マグナム

一射で通常ビーム・ライフルの4倍もの威力を持った《ユニコーンガンダム》の専用武装。放たれた光弾が纏うエネルギーのスパーク光ですら、かすめた敵機をビーム・サーベルのように切断する程であり、巨大なモビルアーマークラスの機体をも一撃で撃破する。標準的な容量のEバックを一度で使い切るため、独自規格の連結タイプ(5発分)を使用する。

PAINTING (塗装) RX-0 ユニコーンガンダム3号機 フェネクス

※ここに掲載している情報は2014年2月現在のものです。

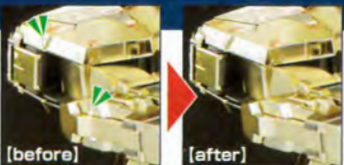
- 頭部メインカメラ、センサーの塗装色
下地にシルバー(100%)
+クリアイエロー(100%)
+クリアオレンジ(少量)
- 足、バックパックなどの塗装色
インディブルー(60%)+レッド(35%)
+グレー(5%)
- 腹部などの塗装色
グレー(80%)+ブラック(20%)
- ライフルなどの塗装色
ニュートラルグレー(95%)
+グリーン(5%) +ホワイト(少量)
- 武器センサー部の塗装色
デイトナグリーン(70%)
+ホワイト(30%)
- Eバックの塗装色
ネービーブルー(95%)
+ダークグリーン(5%)

※よりリアルに仕上げたい方は、上の基本色をご覧ください。※塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
※ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はお勧めできません。※カラー配合は参考値であり、画像とカラーガイドの色は異なる場合があります。

ワンポイントステップ ~One point step~

メッキパーツを切り取った跡(ゲート)が目立つ箇所は、以下の塗装をすることで周りになじみ、目立たなくなります。

- 下地にゴールド(100%)
+クリアイエロー(100%) +クリアオレンジ(少量)



[before] [after]

ゲートを処理しよう!

ガンダムマークやスミ入れ用(別売り)などを使用して、キットのスジ彫りを塗装することで、立体感、リアル感が増します。スミ入れするだけで見違えるような仕上がりになります。



[before] [after]

スミ入れしてみよう!

『UC計画』によって生み出されたMS

※画像の商品はすべて別売りです。



MSN-06S SINANJU STEIN
『UC計画』においてサイコフレームの強度・追従性のテスト機として開発された試作MS。限界性能を計測するために人が乗り込むことを想定されていないはずだったが、その実は人を超える能力を持つ「ある者」に向けて造られていた。

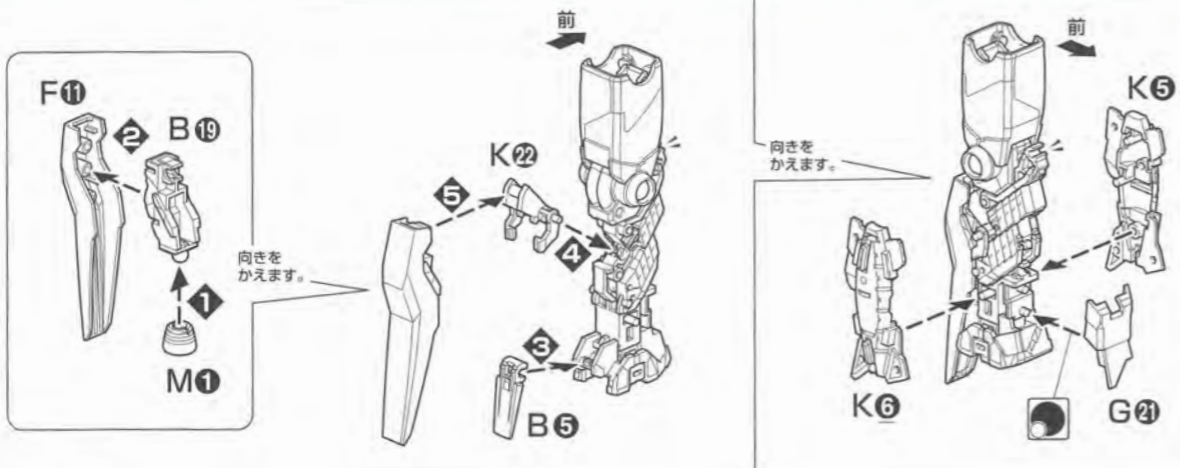
MSN-06S SINANJU
「格付き」によって強化されたシナンジュ・スタインは、装甲や一部武装を改修されてフル・フロントル専用機として生まれ変わった。この強化自体が狂言であり、当初から仕込まれた偽装隠蔽であるという意見も一部には存在する。

RX-0 UNICORN GUNDAM
『UC計画』の要となるフル・サイコフレーム搭載型MSの1号機。ビスト財団頭首のカーディアス・ビストにより、La+プログラムという特殊な仕掛けが施された。純白のRX-0は可能性の縦として、計画の枠を大きく超えた運命を辿ることとなる。

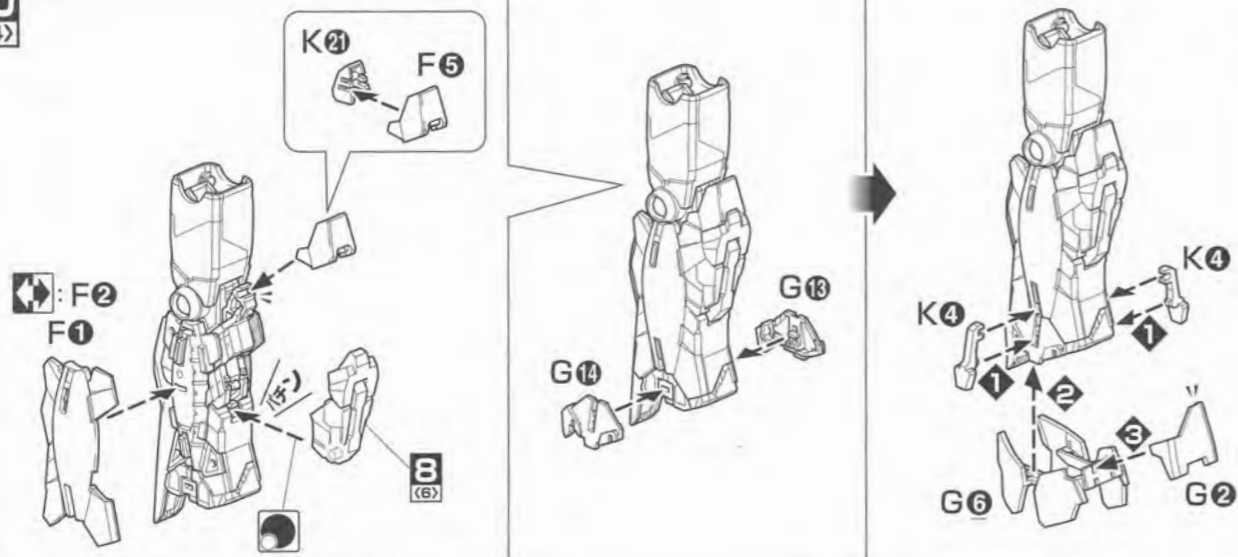
RX-0 UNICORN GUNDAM 02 BANSHÉE
RX-0の2号機。先行して重力下での稼働試験を含んだ最終調整が施されており、さらには専用設計の増加サイコフレーム装備、アームド・アーマーを新たに与えられているなど、同型機ながら1号機と比較した完成度ははるかに高いものとなっている。

RX-0 UNICORN GUNDAM 03 PHENEX
宇宙世紀0095年、試験用に先行納入されたフル・サイコフレームの素体をもとに、1号機と2号機の建造データを反映して連邦軍が独自に組み上げたRX-0の3号機。ビスト財団から計画の主導権を取り戻すと、2体のRX-0を狙う。

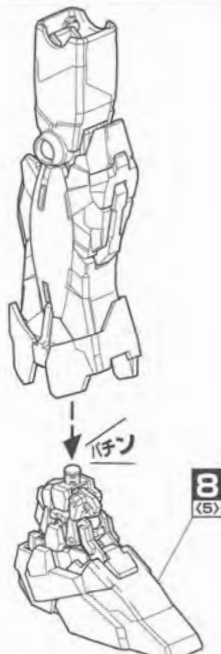
10
(3)



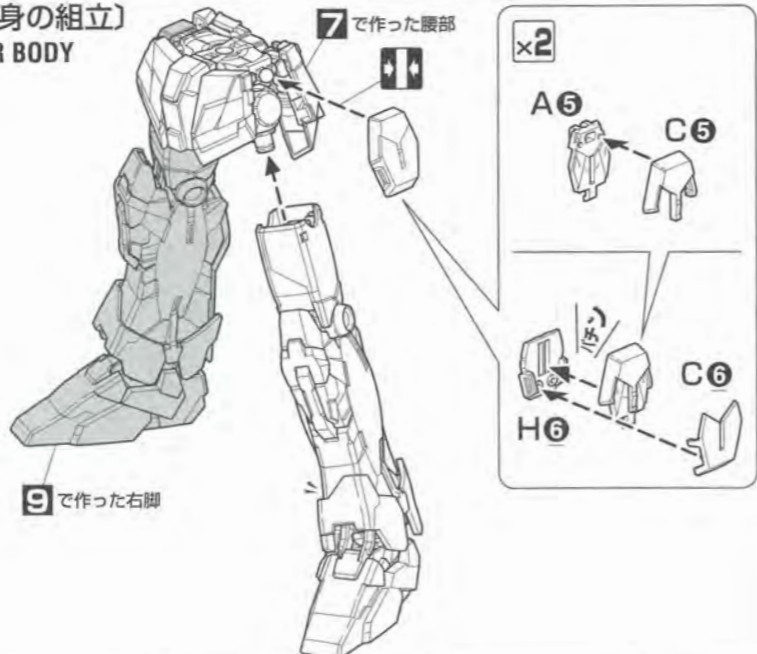
10
(4)



10
(5)



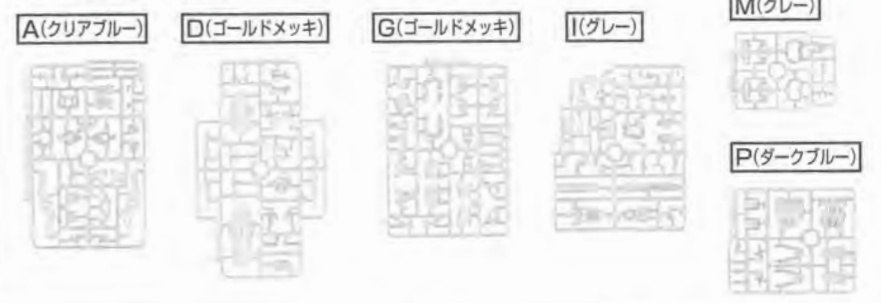
11
(下身体の組立)
LOWER BODY



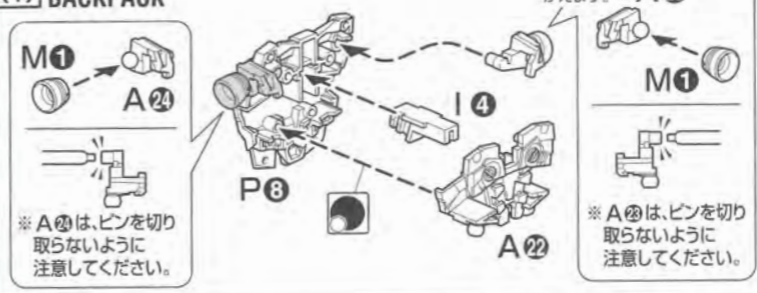
1213 BACKPACK



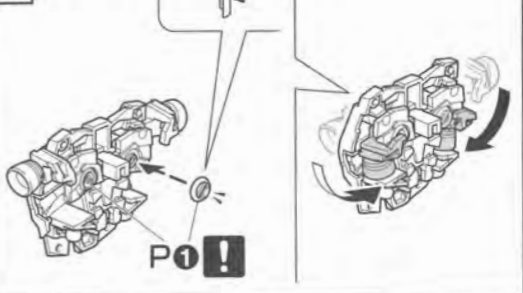
・組立12・13で使用するパーツ



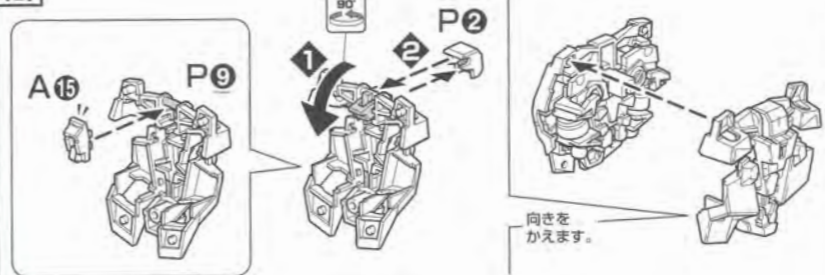
12
(1) BACKPACK



12
(2)



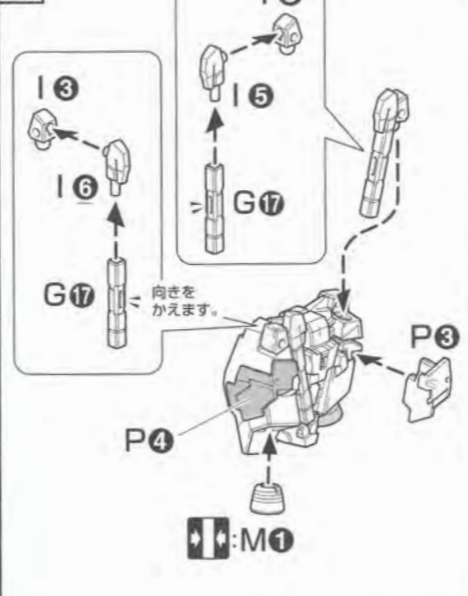
12
(3)



13
(2)



12
(4)



13
(1)



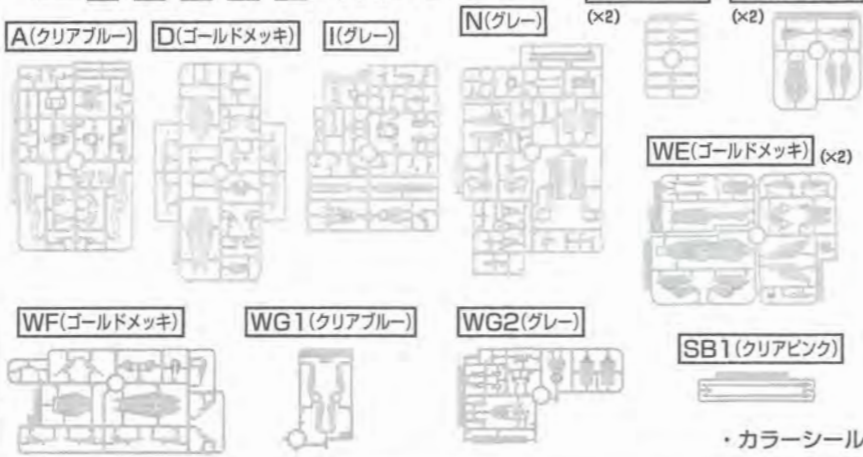
〈コックピットハッチの開け方〉



14 15 16 17 18 WEAPONS



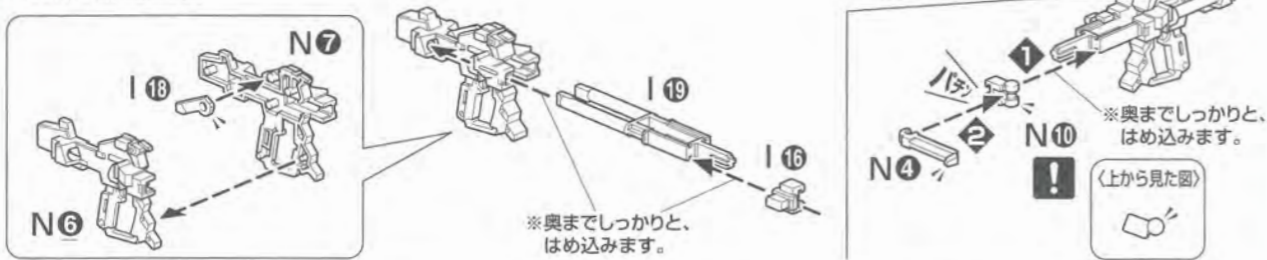
・組立 14・15・16・17・18 で使用するパーツ



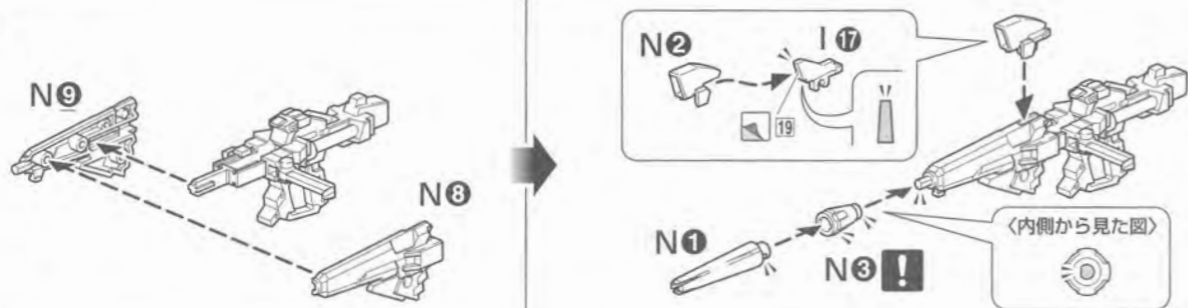
・カラーシール

14 [ビーム・マグナムの組立]

14 (1) BEAM MAGNUM



14 (2)



14 (3)

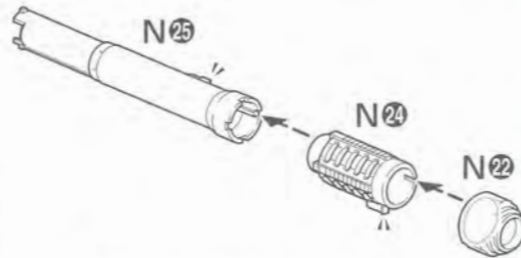


14 (4)

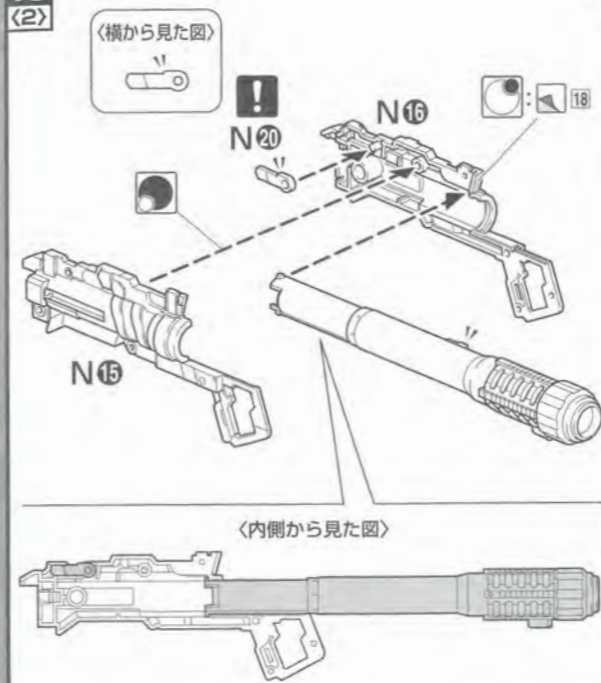


15 [ハイパー・バズーカの組立]

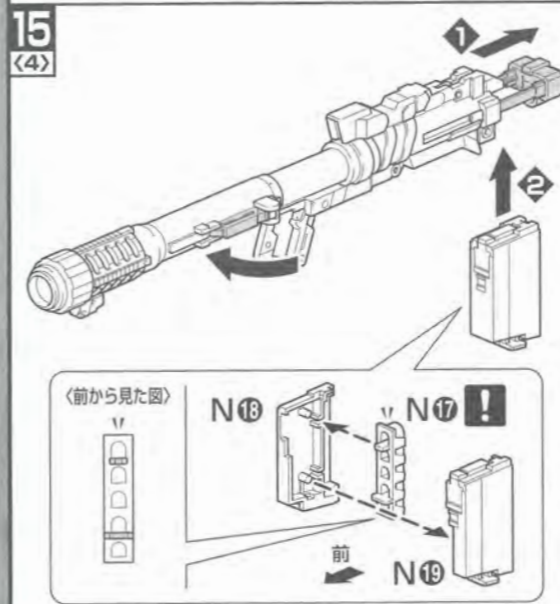
15 (1) HYPER BAZOOKA



15 (2)

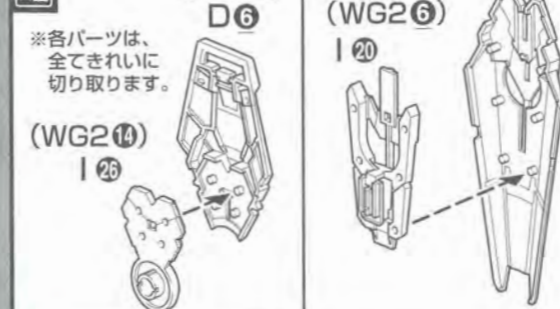


15 (4)

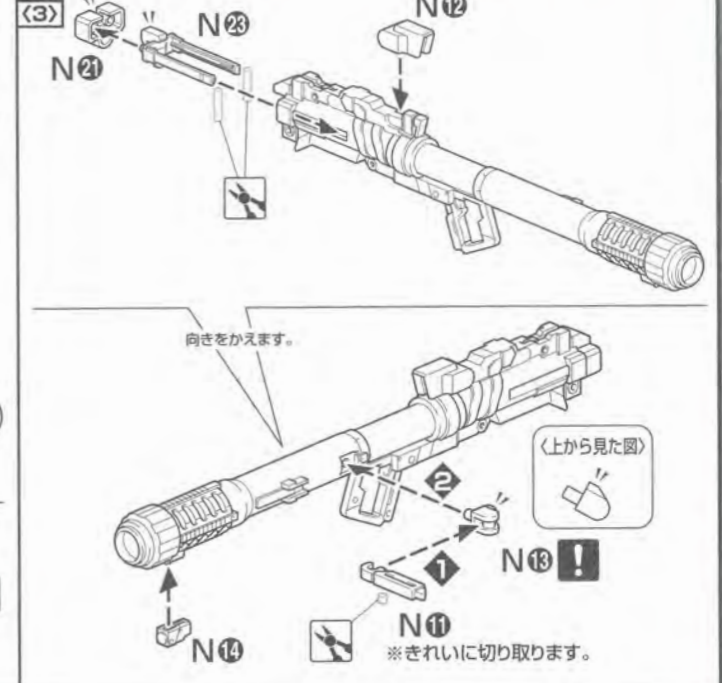


16 [シールドの組立]

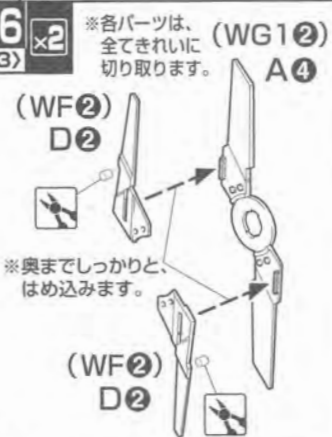
16 (1) SHIELD



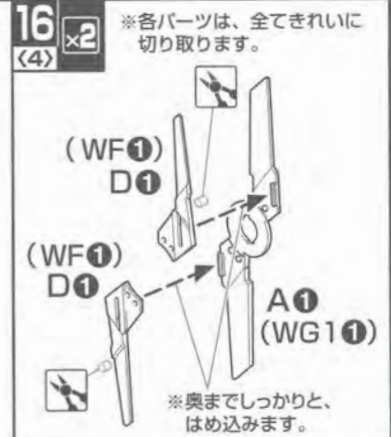
15 (3)



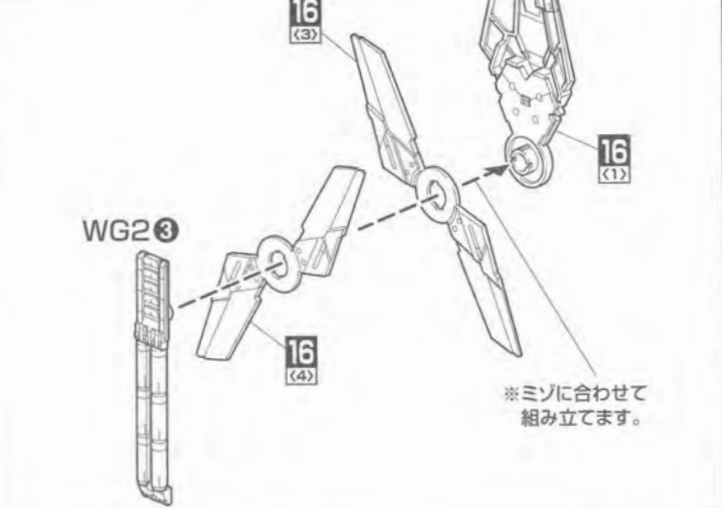
16 (3)

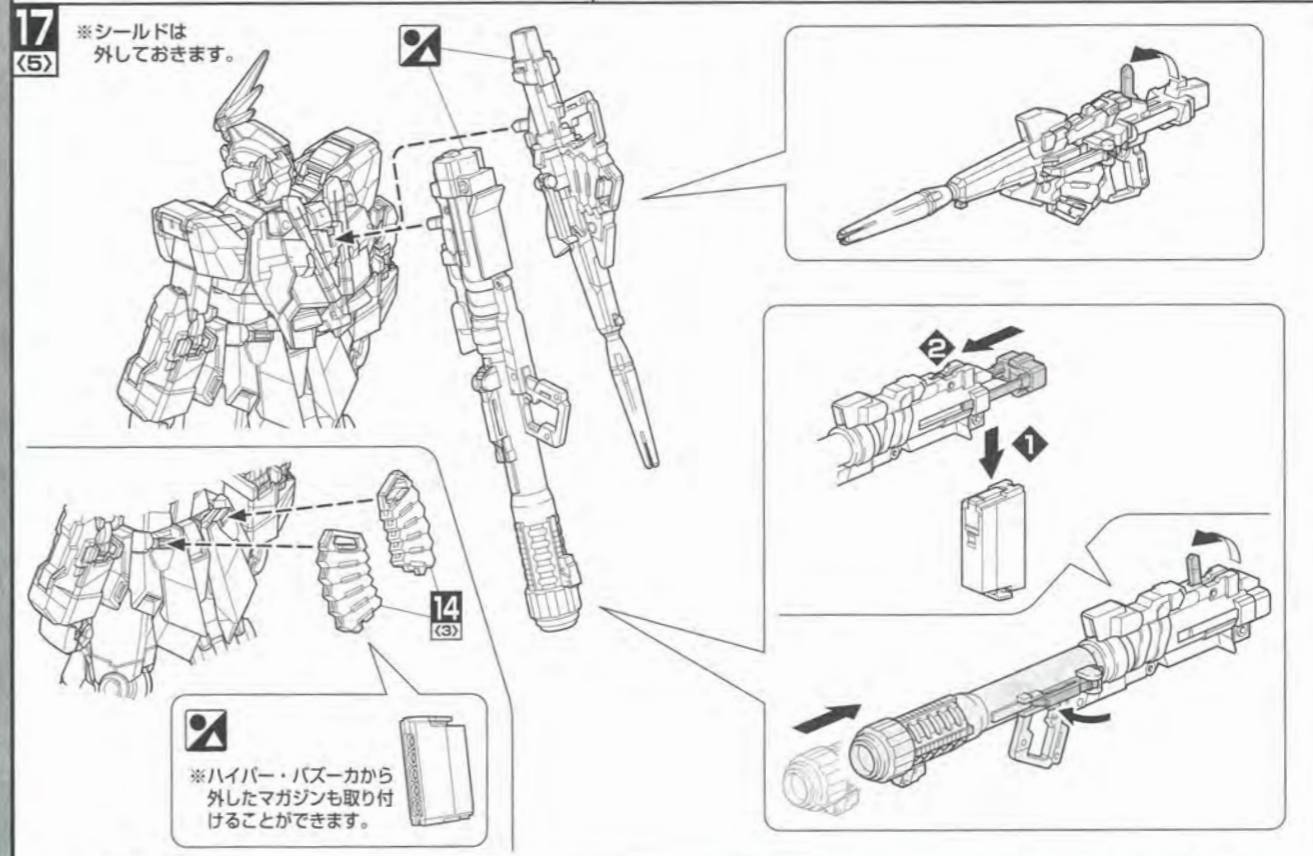
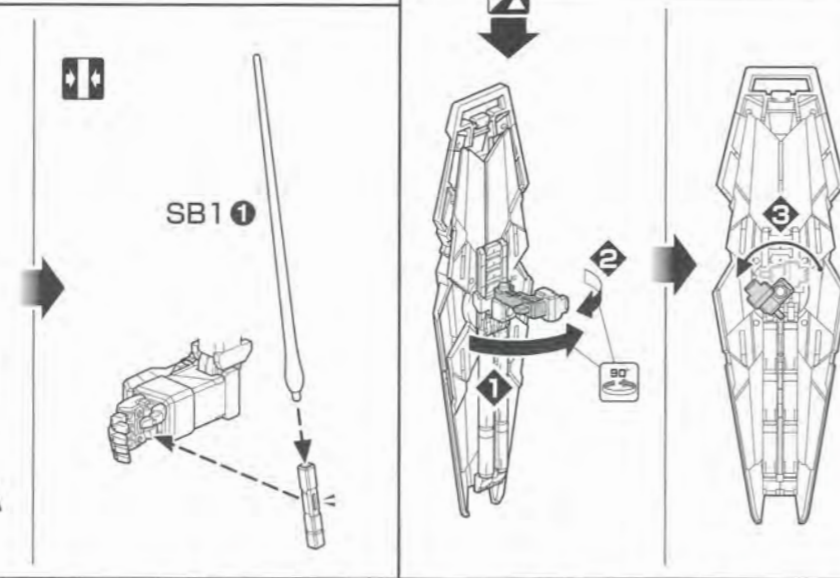
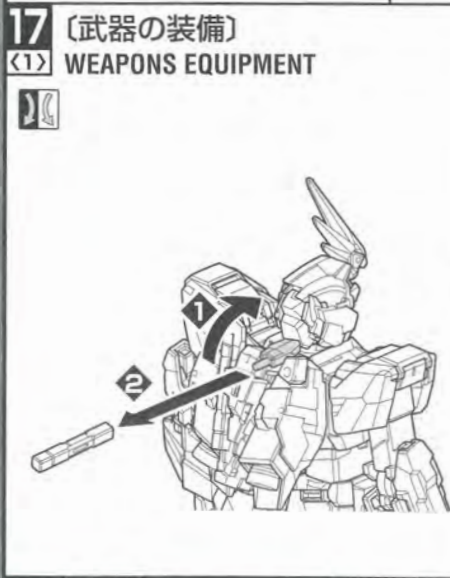
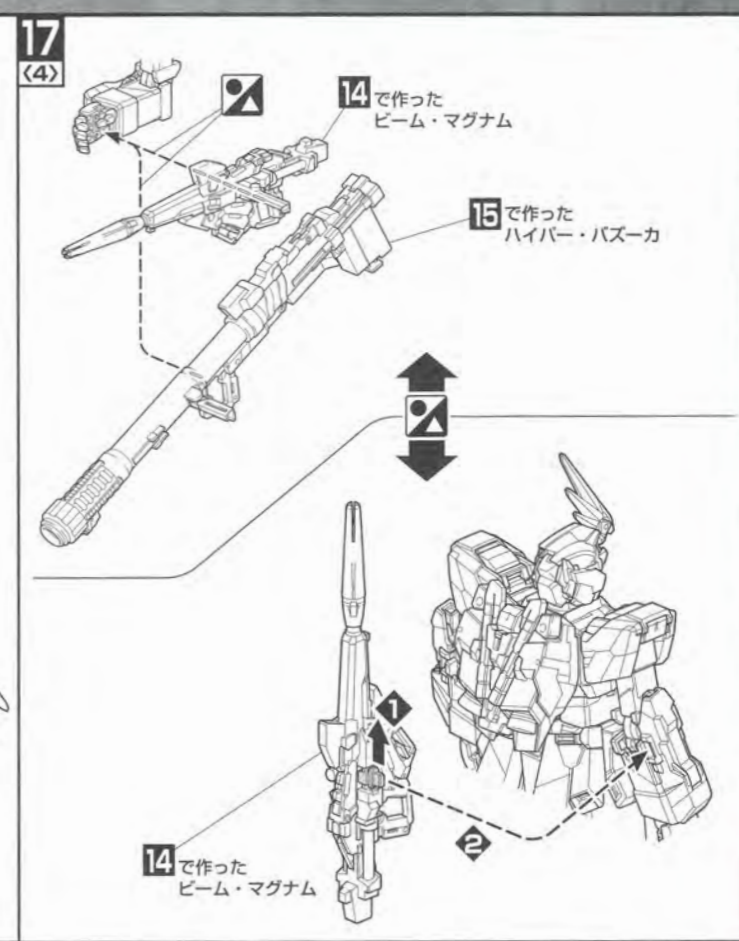
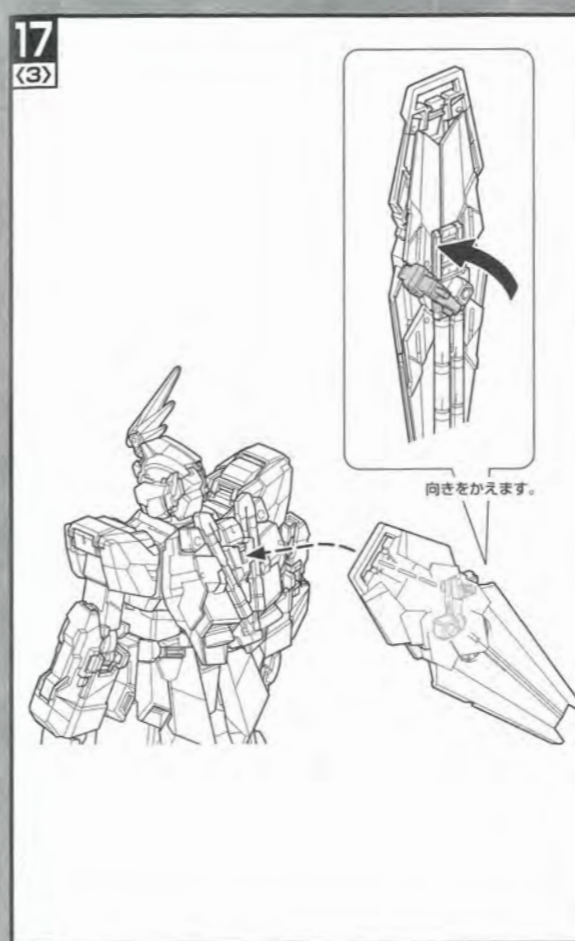
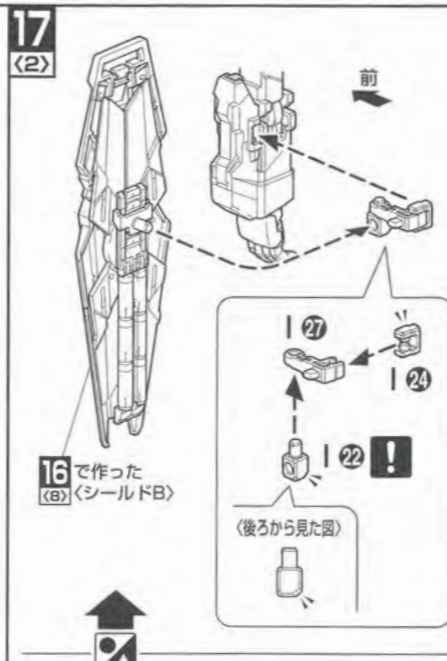
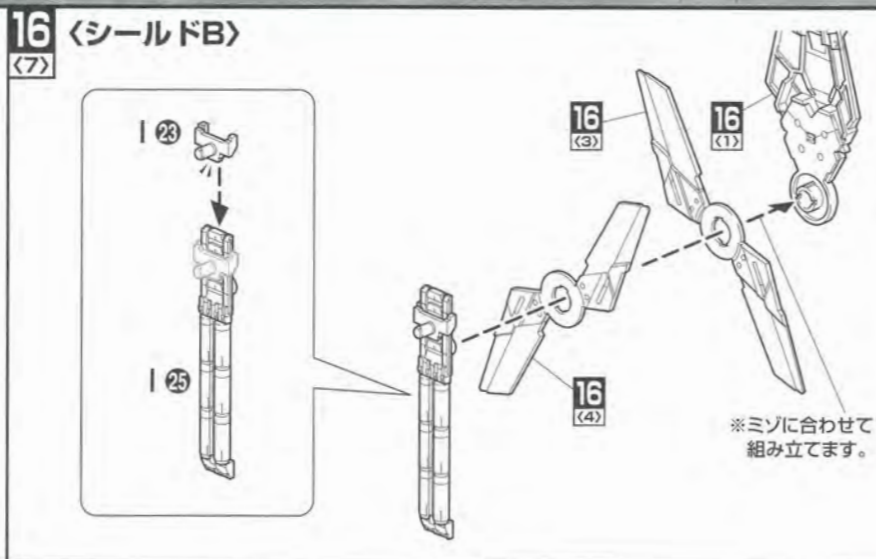


16 (4)

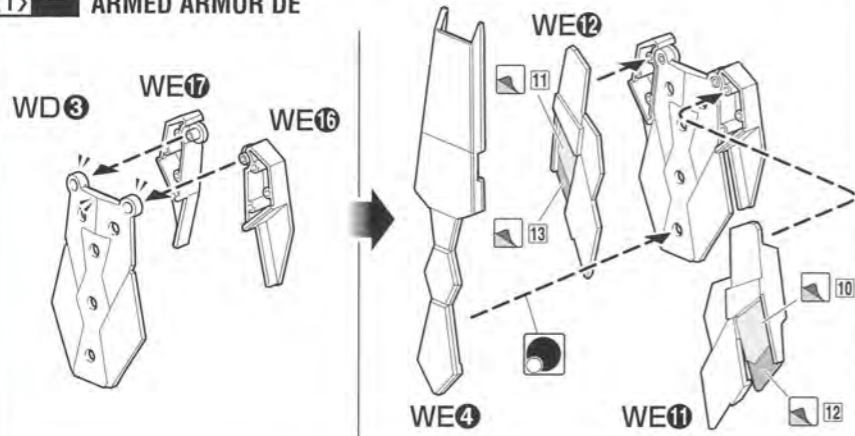


16 (5) <シールドA>

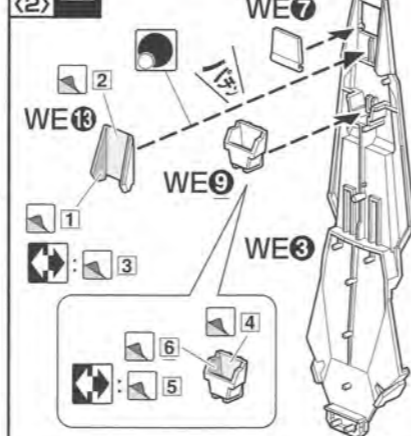




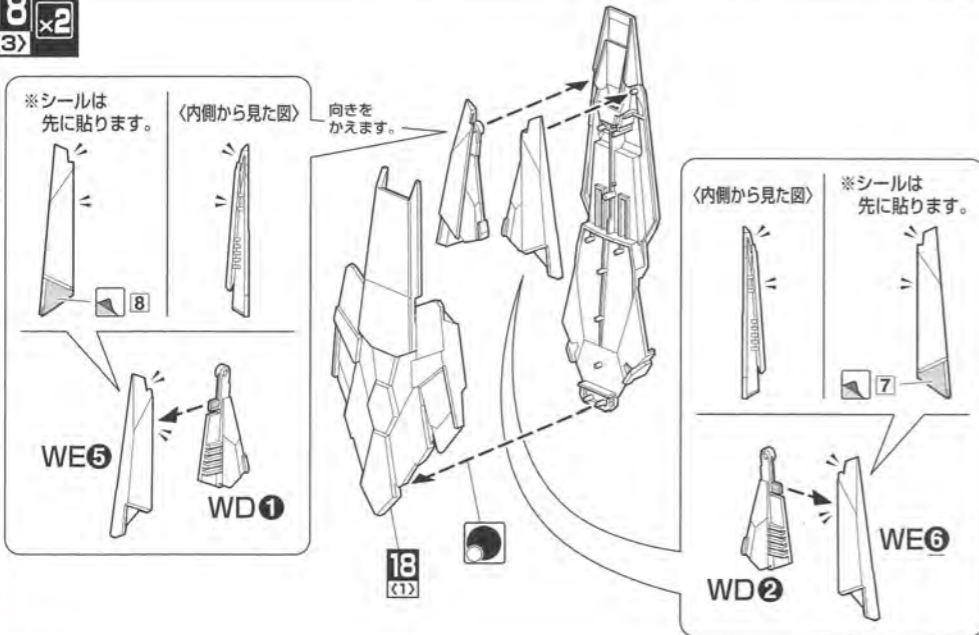
18 (1) x2 [アームド・アーマーDEの組立]
ARMED ARMOR DE



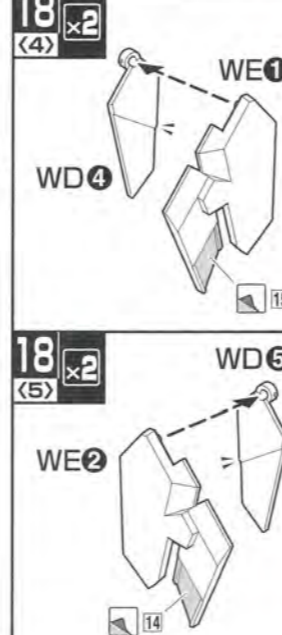
18 (2) x2 ※シールは先に貼ります。



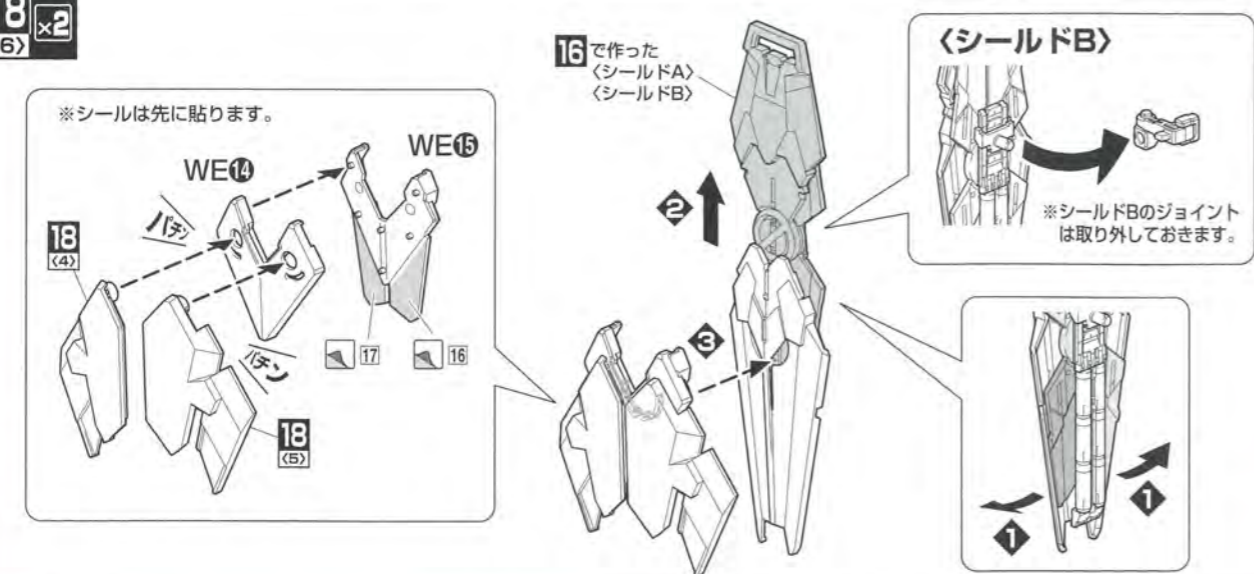
18 (3) x2



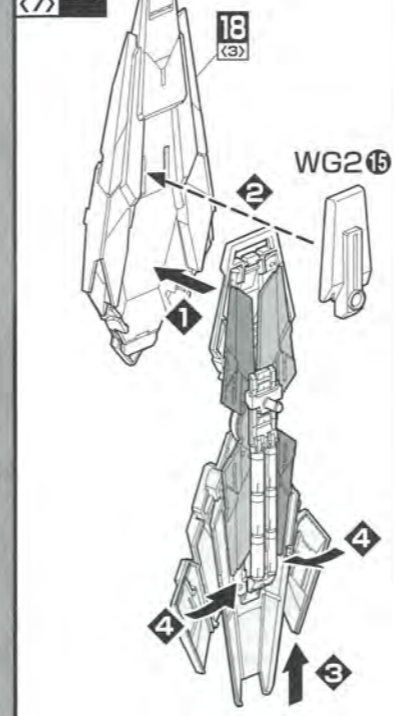
18 (4) x2



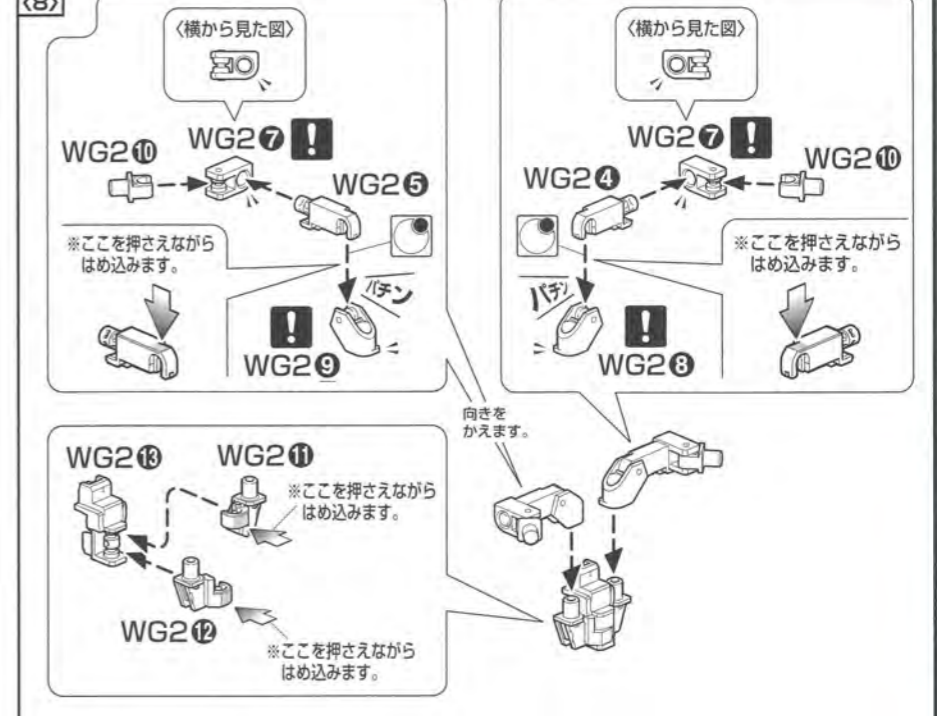
18 (6) x2



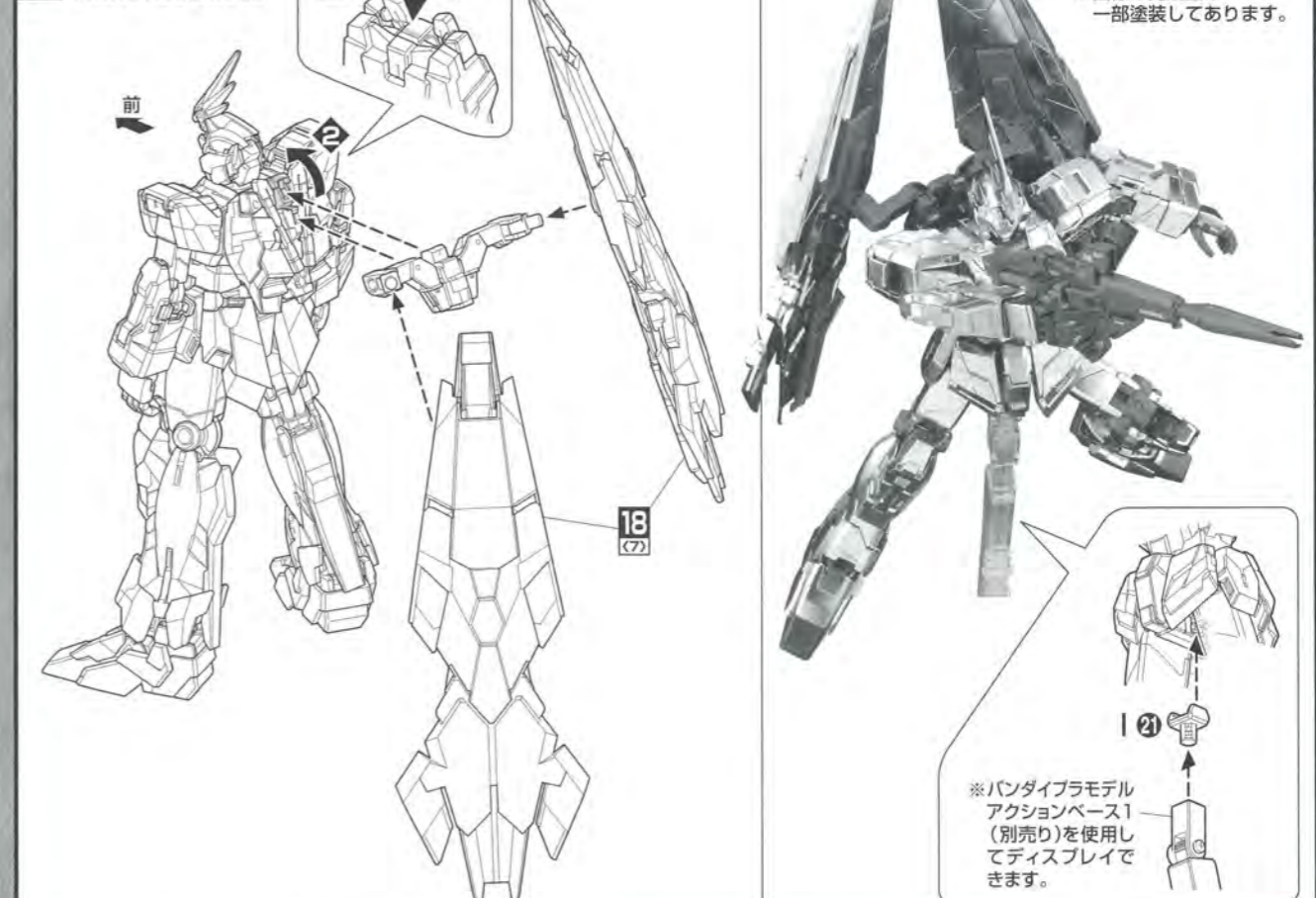
18 (7) x2



18 (8)



18 (9) [完成] FINAL ASSEMBLE



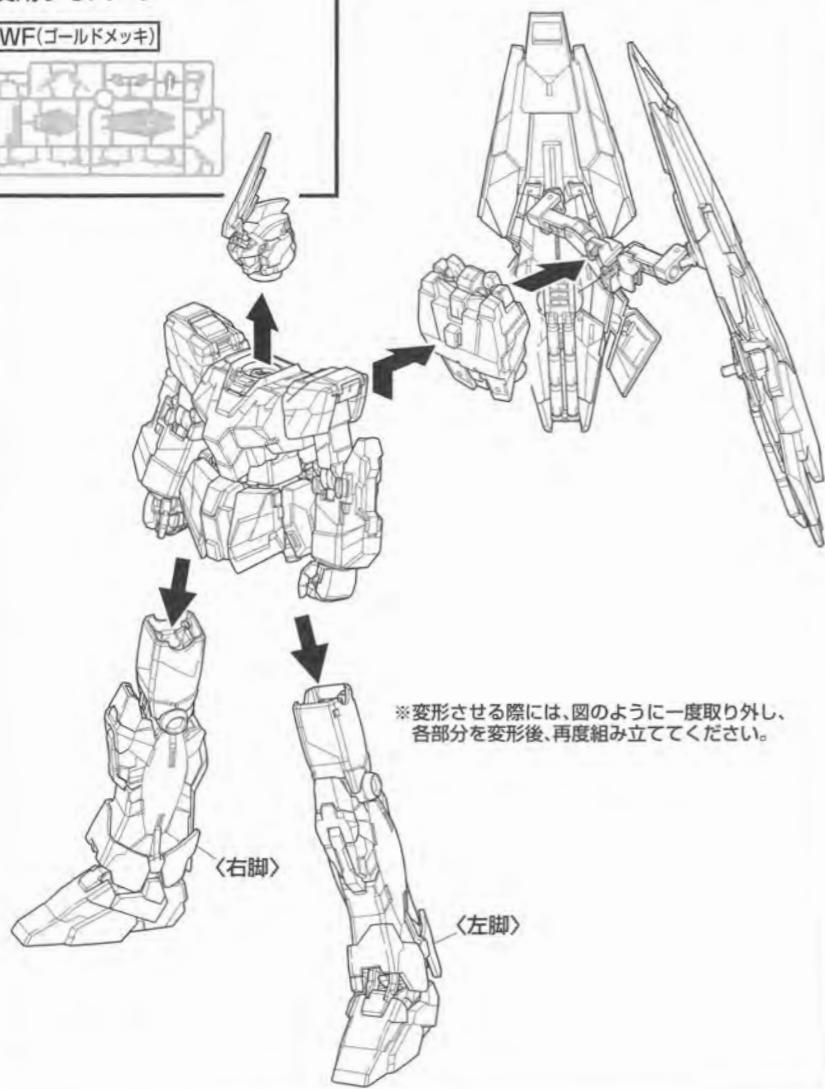
※イラストは、変形説明のため、一部簡略化しています。

・デストロイモードへの変形で使用するパーツ

WF(ゴールドメッキ)

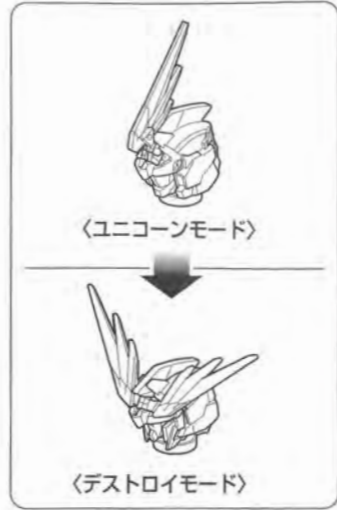


1 (デストロイモードへの変形)

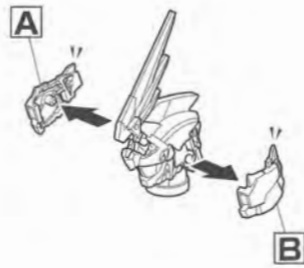


2 (頭部の変形)

(1)



※変形させる場合は、**2** (可動アンテナ) に付け替えてください。ディスプレイ用アンテナ (WF**6**) を使用する場合は、どちらのアンテナも取り外しておいてください。



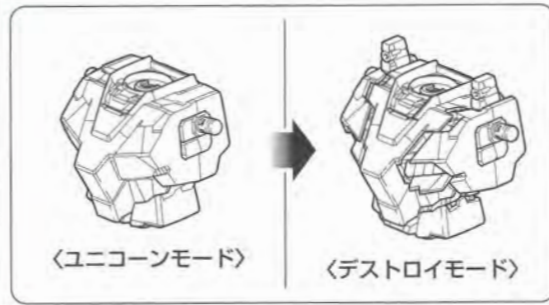
2 (2)



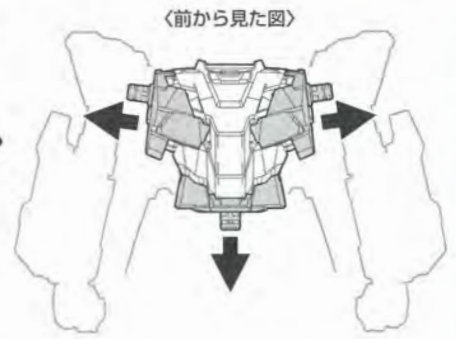
※イラストは、変形説明のため、一部簡略化しています。

3 (胸部の変形)

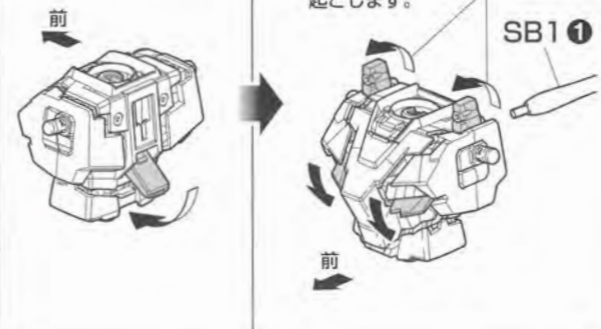
(1)



※両腕と腰部は取り付けのまま変形させてください。

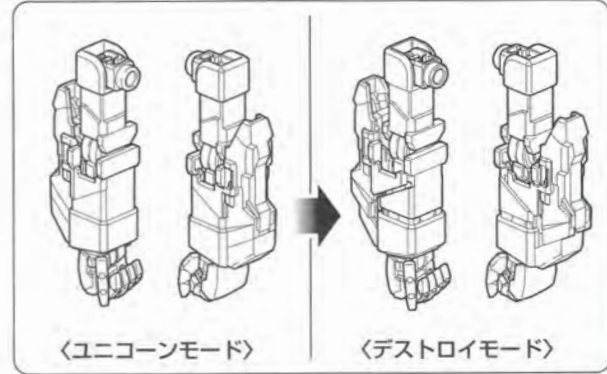


3 (2)

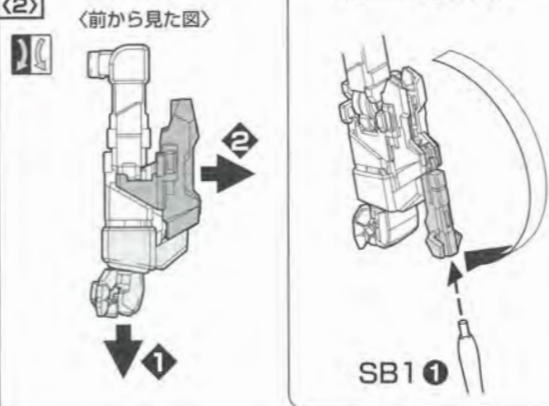


4 (腕部の変形)

(1)

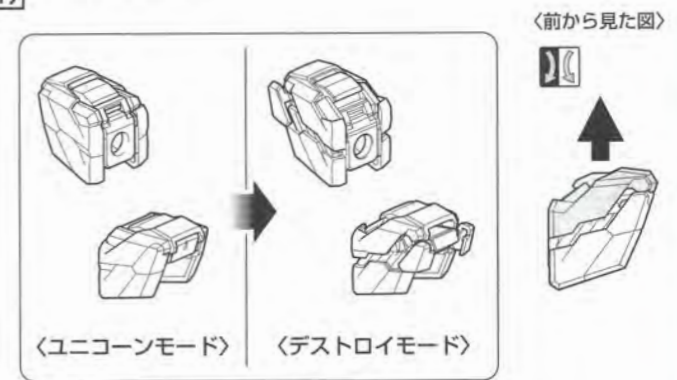


4 (2)



5 (肩部の変形)

(1)

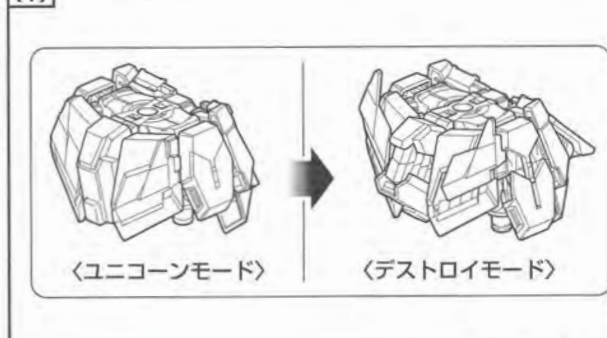


5 (2)

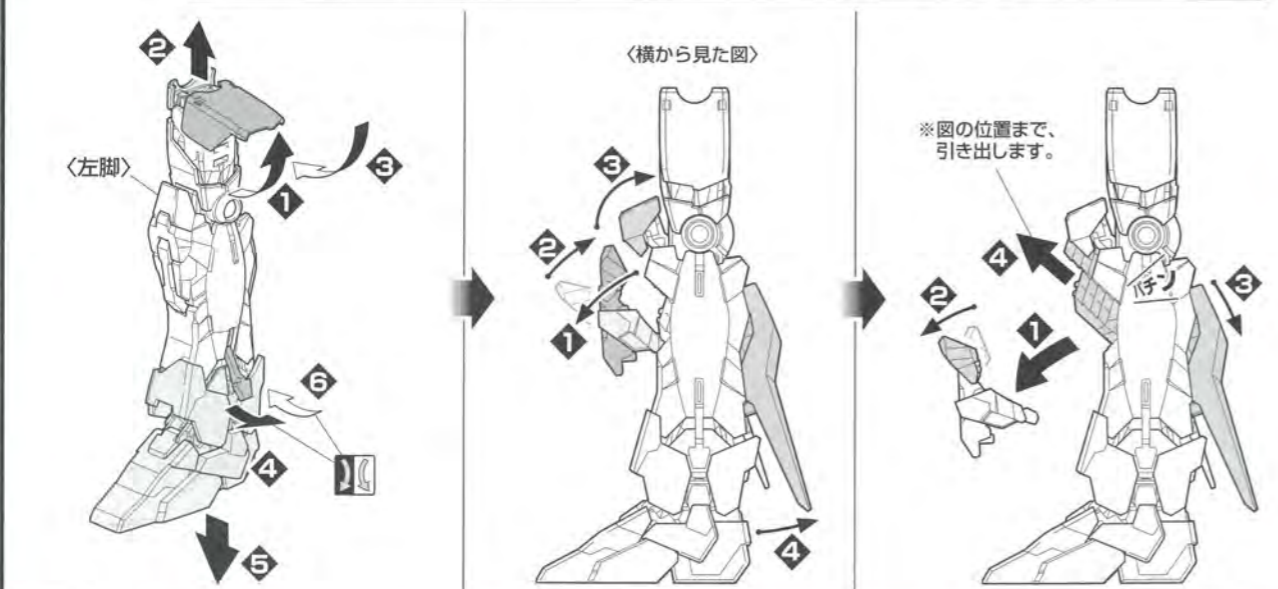
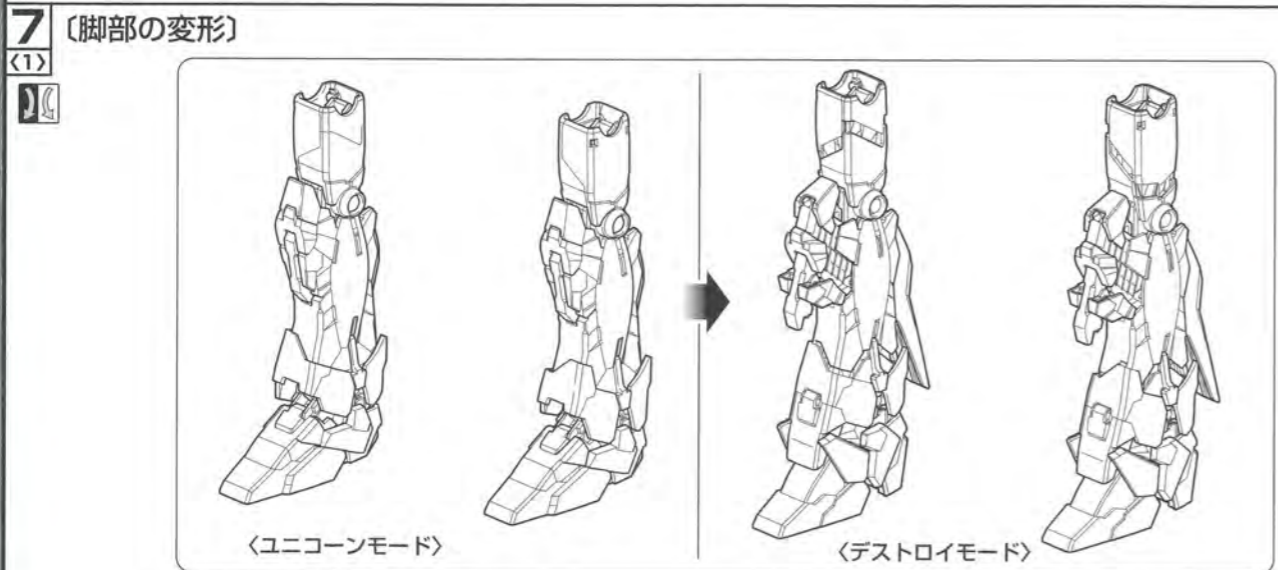
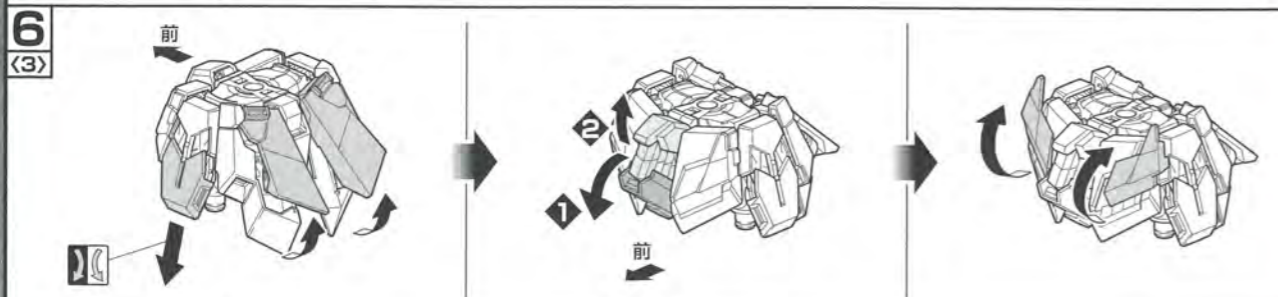
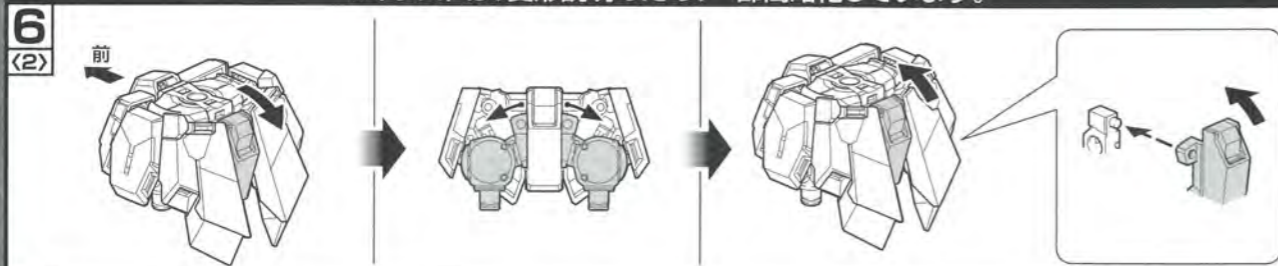


6 (腰部の変形)

(1)

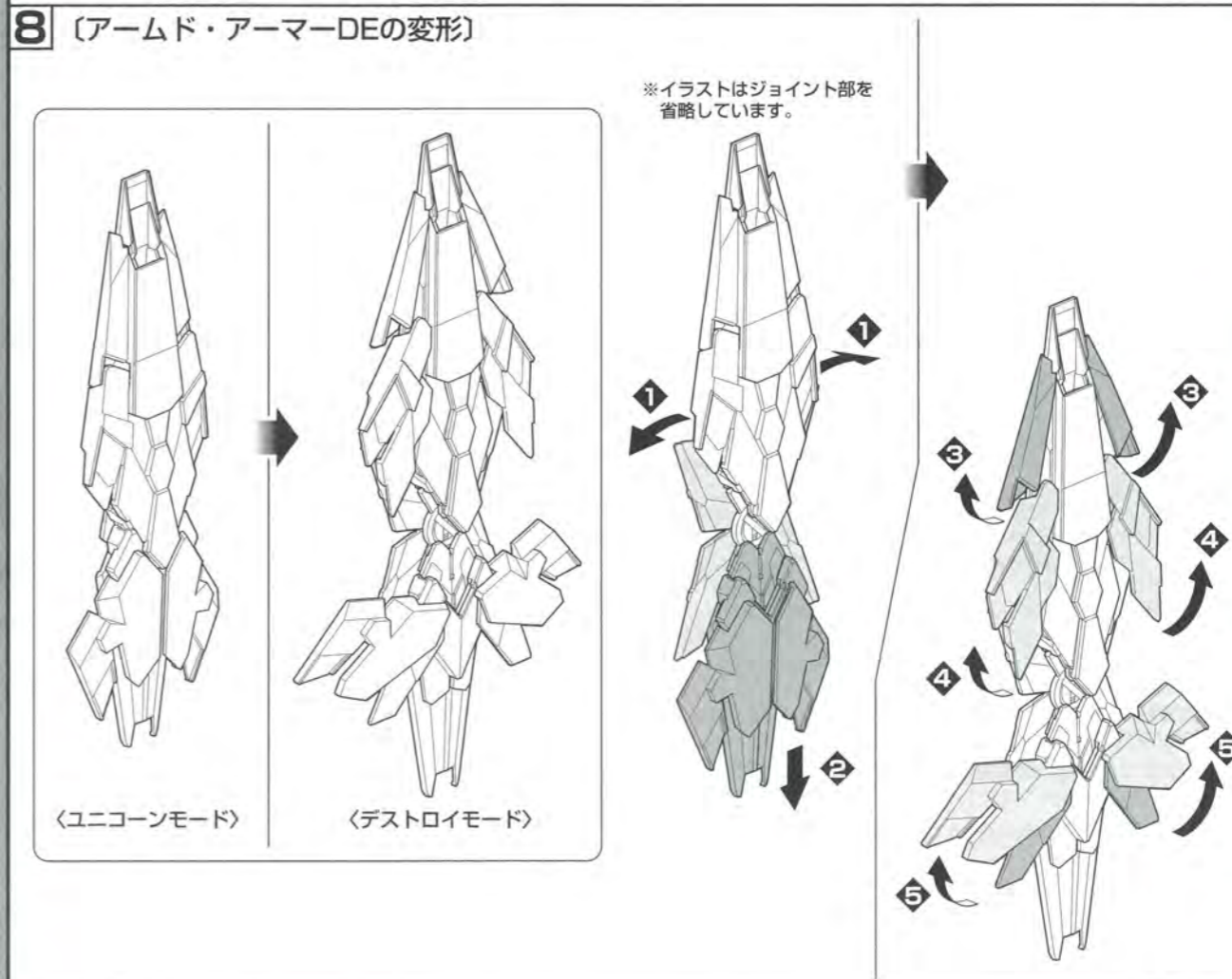
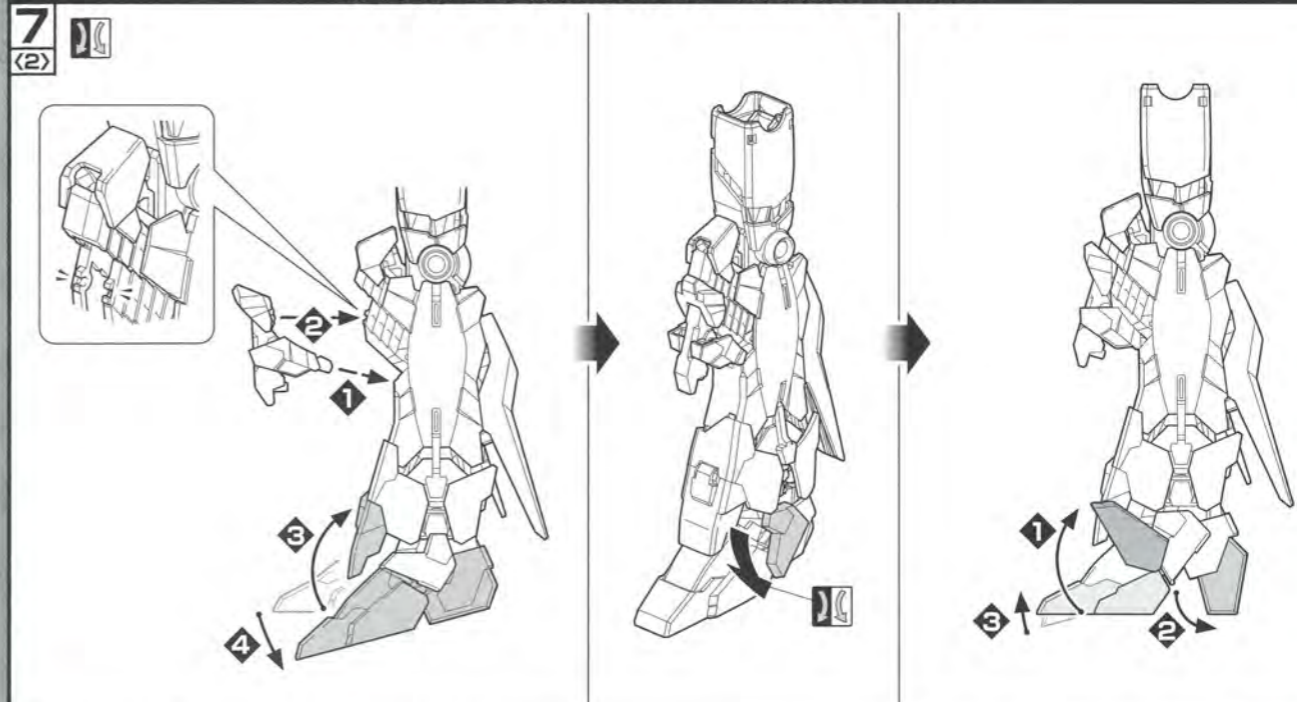


※イラストは、変形説明のため、一部簡略化しています。



※組立図中の記号説明 両側を同じように動かす

※イラストは、変形説明のため、一部簡略化しています。



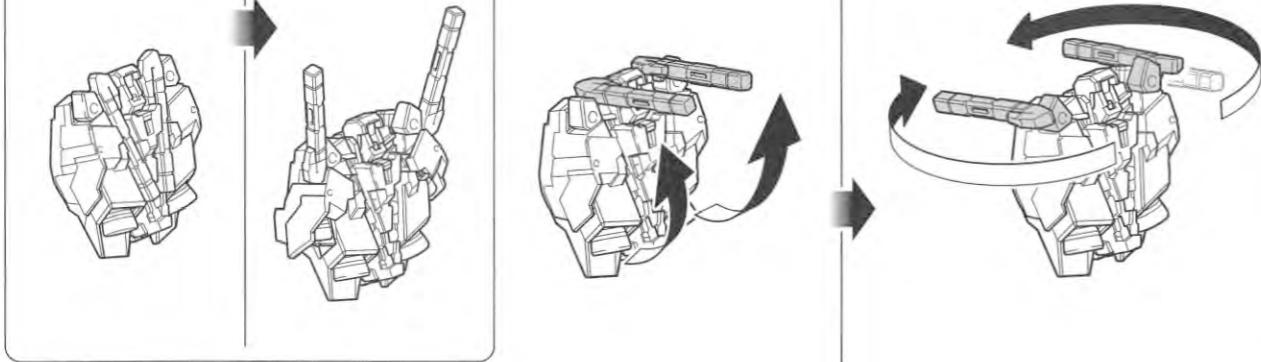
※組立図中の記号説明 両側を同じように動かす

※イラストは、変形説明のため、一部簡略化しています。

9 (バックパックの変形)

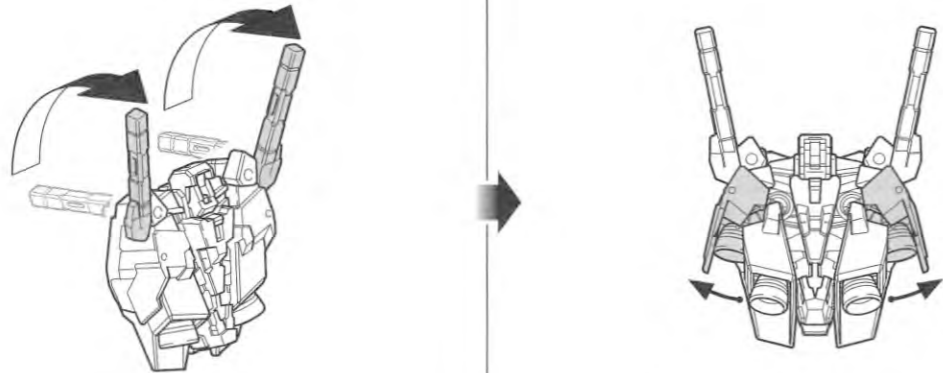
(1)

〈ユニコンモード〉 〈デストロイモード〉



9

(2)



Seal

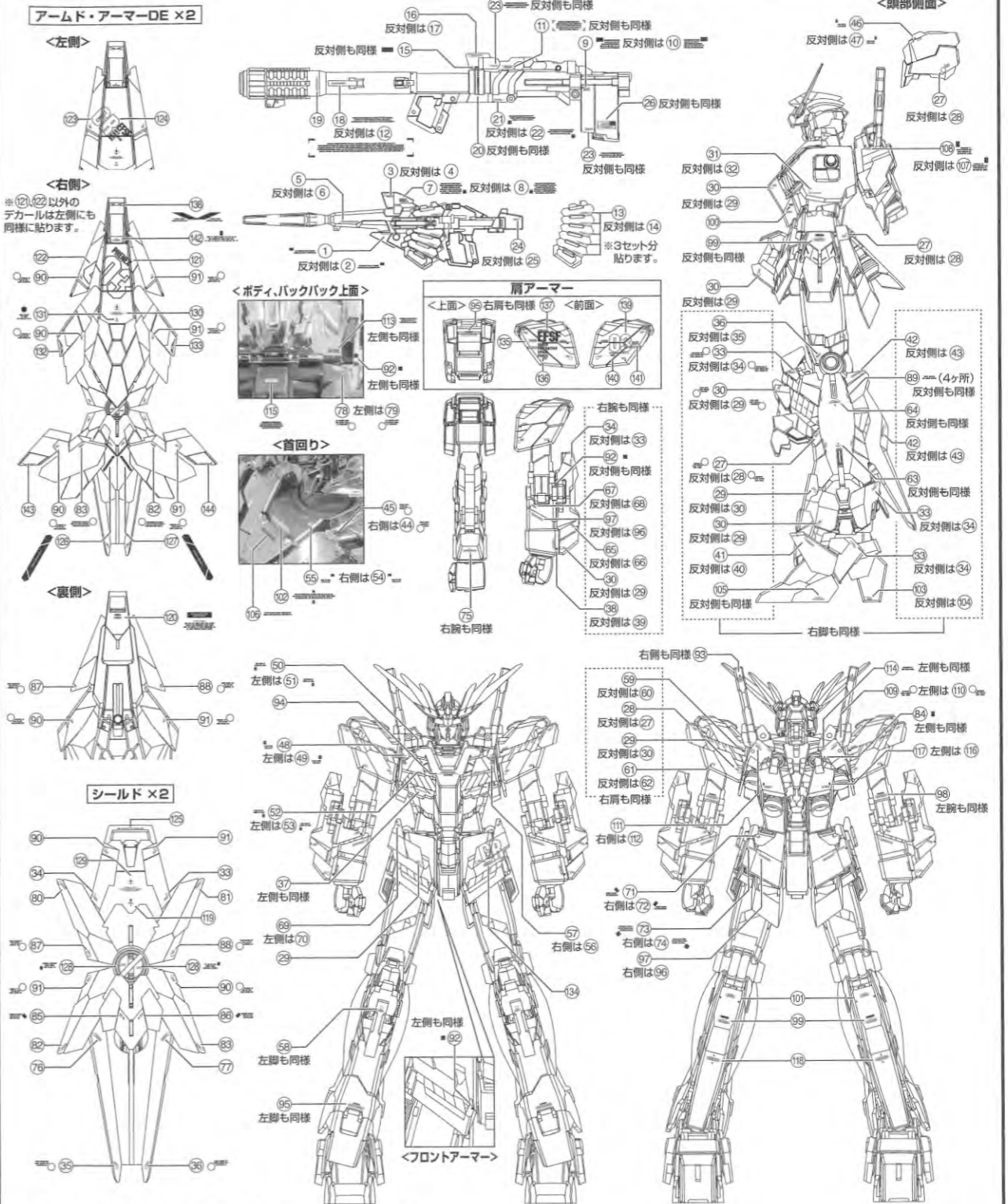
〈シール〉 下の図を見て、水転写式デカールの貼る位置を確認してください。

【水転写式デカールの貼りかた】

1. 水転写式デカールは転写するマークより大きめに切り出し、ぬるま湯に3秒間浸し、ピンセットで引き上げます。デカールのいらない部分は切り取っておきましょう。
2. 台紙からデカールがずれるようになるまで待ち、表を上にしてすべらせて貼ってください。
3. 綿棒などで押して、気泡を取ってください。

- ※乾くまで、手を触れないください。
- ※デカールを貼る部分のキットパーツの油分を、あらかじめ中性洗剤などでふきとると一層よく密着します。
- ※デカールを貼るための道具(ハサミ、ピンセット、綿棒など)は、別にご用意ください。
- ※複雑な曲面形状や凹凸形状などに貼るデカールには、密着させるために別売りの水転写式デカール用軟化剤や水転写式デカール用接着剤をご使用ください。

この水転写式デカールはプラモデルオリジナルのもので、貼り指示は一例ですのでイメージに合わせてお貼りください。



※余った水転写式デカールは好きな所に貼ってください。